處女の友

大正九年九月廿八日印刷納本 大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正九年十月一日發行（毎月一回一日發行）

3巻10号

第三巻　十月　第拾號

處女會中央部發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は婦女の友廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

經濟的家庭染料の大王

燈臺印 絞り染下繪用 青花（あをばな）

定價壹袋十錢 送料二錢

絞り染の下繪をお書きになるには本品を御使用下さい使用法簡單にて具合よろし

燈台印

家庭用改良染粉

みやこ染

色合（紺、黒、茶、濃黄、茶、黄、海老茶、紫、オリーブ、桃色、牡丹、萌黄、納戸、鼡茶、樺色、鐵色、鼠、藍鼠等、）

定價（小瓶（半反染）金二十五錢 大瓶（一反染）金四十五錢）（染法は現品に詳しく書いてあります）

◇賣捌は全國の小間物店荒物店藥店にあり

◇御買求めの節は燈臺印みやこ染に御注意

●みやこ染は 御婦人御子供樣方どなたにも極く手輕に美しく染ろ輕便な染粉です

●みやこ染は 他の染粉の如く色留粉を用ひずして充分堅牢です

●みやこ染は 色の配合自由自在御望みの色が思ふ儘に出來ます

御申越次第染色標本（說明書進呈此の廣告を見し旨御書添を乞ふ）

東京小舟町

かつらや

電話浪花 長一九五八番 二九五八番

振替東京三九五番

絞り染用染料として大好評

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

白木屋呉服店

- 七五三御祝着陳列　十月十日より
- 御婚禮衣裳陳列　同十日より
- 秋季大賣出し　十月一日より
- よせ裂格安反物賣出し　同一日より
- 流行品陳列會　同一日より

- 漆藝會蒔繪展覽會　十月一日より五日迄
- 澤田宗山陶器個人展覽會　八日より十二日迄
- 京都大家日本畫展覽會　十五日より廿一日迄
- 第一回紅樹社日本畫展覽會　廿三日より廿七日迄

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女の友

十月號 目次

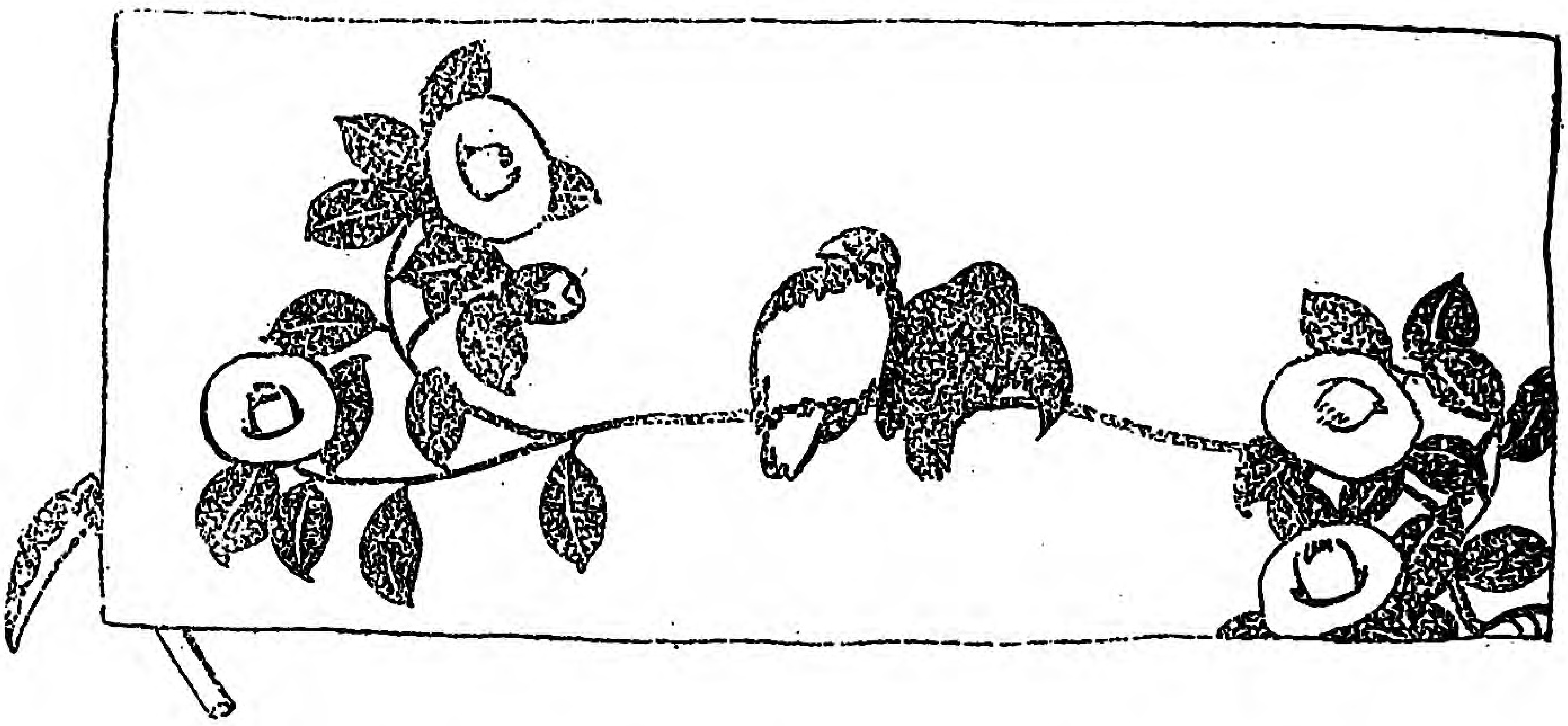
大正九年十月一日發行

○口繪「勞働の神聖」……田代紫光筆
○説明 乙女のつどひ／頼母しき地方婦人

◉記事◉

▽巻頭（秋）……一
▽青年より處女へ……主幹 天野藤男……二
▽青年と女子の諒解……本會理事 田子一民……七
▽理想的の結婚……本會理事 山脇房子……一〇
▽電話交換手の爲に……本會理事 嘉悦孝子……一三
▽秋の清潔法……本會理事 甫守ふみ子……一四
▽妻となる試驗……一七
▽露と霧の話……二一
▽知つて置くべきこと……二三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



▽小説 友情（その三）……深緑…二五
▽臺所手引……二五
▽悲しき乙女の一生……幸子…二九
▽私の好きな娘……白雲…三三
▽處女新報……三五
▽地方通信……三六
▽月の夜光ちゃんに……松崎ひろの…三八
▽皆さんからのお便り……四一
▽前號口繪說明……四六
▽鳥の親の心盡し……四七
▽處女文壇……五〇
▽處女俳壇……五〇
▽處女歌壇……五一
▽誌友くらぶ……五二
▽懸賞募集……五五
▽考へ物……五六
▽編輯だより……五六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

キリン縫糸

美の世界を超越せる
清き中秋の名月!!

有らゆる縫糸界を超越して
雄飛躍進しつゝある
キリン縫糸!!

他に比類のない特質は……

●實用向贈答用として申分なし
●上等の棉花で紡いでありますから引力が強く
●正紺上晒ですし且シルケット掛瓦斯焼糸ですから
●縫ひスべり針の目通り非常によし
●又從來の縫糸より大綛一綛にて二百六十四尺長し
●殊に當社獨特の玉卷(九十五碼卷―單衣三枚縫分 六十五碼卷―給入一枚縫分)の如きは大好評なり

全國到る處の呉服店、糸店、雜貨店、文房具店、荒物店等に在り、ハガキにて御申越次第見本進呈

東亞綿絲工業株式會社
日本橋堀江町
電話浪花 長二八九二番 長四五四八番
振替口座東京 三八九九番

清き乙女のつどひ

前列中央 會長 山本彦四郎氏

岡山縣苫田郡阿波村處女會(料理講習紀念)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

頼母しき地方婦人

滋賀縣蒲原郡金田村處女會　頌德會餘興

長野縣上水内郡柵村追逈區處女會員

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

富士のあけぼの

秋！

秋來ぬと目にはさやかに見えねども
風の音にぞおどろかれぬる

空の色、風の戰ぎ、さや豆のふとり、あゝ秋が來た。たのしい秋が來た。あの高く澄んだ青空を眺めてゐると、氣も心も落ちついて、何んとも云へない氣分になる。ありがたい、勿體ない、ヂッとしてはゐられない、『働け、落ちついて働け』誰かゞ耳に囁くやうな。稻は黄金色にみのる、柘榴が笑む、栗が熟れる、柿が色づく、すべてが充實する。春に醉ひ、夏に疲れた人よ、この秋に、生れ返つて働け、虚榮の夢より現實にさめ、空想より希望に、希望より活動へ！あれ百舌がなく、鋭いあの聲、肺腑を突くやうなあの聲、堤には尾花が光つてゐる。萩は瞑想に耽つてゐる。秋海棠が沈思してゐる。花も鳥も秋はうかれてゐない。考へてゐる。悟つてゐる。乙女よ、胸に手をあてゝ、空を仰ぎ、大地を望み、深く考へ、廣く慮つて、人生の意義に透徹しおのがじゝ神聖なる業務にいそしめよ。あゝ秋はたのし！

青年より處女へ

天野藤男

◎二千五百人の青年と處女

本年五月東京國民新聞社は青年會と處女會の改良を圖る爲に、全國の青年より處女へ、處女より青年に對して、心置きない注文と希望とを募集した。その面白い投書を一日二人づゝ四十人ばかり掲げ、青年處女の衷心からの叫びを世間に發表したことは、同新聞を讀んだ人の知る所であらう。

その投書は全體で二千五百篇あつた。即ち二千五百人の青年と處女からの遠慮ない希望が打明けられたのである。是は私どもにとつてまことによい參考となるので、私は、國民新聞社から右の投書を全部讓り受けて、其を毎夜心を跳らせて讀み、今日漸く調べ了へた。何しろ二千五百人あまりの作文なので、讀み了へるのにも容易なことでなかつた。

◎女の方が眞劍

一般に處女の注文の方がまじめで、眞劍であつた。是は書く爲に考へたものでなく、ふだん青年について考へてゐることや、不平や不滿足を、この時書いて訴へてやらうといふ意氣込みで一氣呵成に書き上げたからである。考へた文章でなく、心の中から出た文であるから、力が強い。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女の青年に對する注文にはなか〳〵面白い、といふより青年のお藥になる事柄が多かつた。私は是等の中の尤も適切と思はれるものをいつも持參して青年會のある每に讀むことにしてゐるが、大變利き目が多いやうである。お役人などが、青年に叱言いふより、娘が注文した事の方がよほど身に泌みるやうである。

◎處女の注文六ケ條

こゝでは、一々文章はあげませんが、只全體を通じて、處女が青年に向つての注文を箇條書きにしてみると次の樣な事柄である。

一、人格を高潔に保つて下さい。
二、お酒をよして下さい。
三、嫌らしい風をするのをやめて下さい。
四、女の境遇を理解し人格を認めて下さい。
五、理想を高くもつて下さい。
六、社會の爲に盡すといふ考をもつて下さい。

以上の六項は、恐らく皆さんも同感であらうと思ふ。まことにまじめな注文で、私どもは、ほんとうに、たのもしく思ふ。一人も、ハイカラになつて下さい、香水をつけて下さいと注文してゐなかつたことをうれしく思ふ。殊に東京府下の高橋はま子さんは、

「私共は底力と多少の圓みとあるお人柄をまたなくたのもしく思ひます。內に高潔の精神と、燃ゆる思

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

潮とがありますならば、少し位な粗野な點は、青年の方には別してとがめ立するにも當りますまいと思ひます。」

といつてゐる。何んといふ立派な、徹底した考でだらう。あゝ底力と圓み！ さうだ。この二つさへあれば、着物や顔つきなんぞ問題になるもんですか。底力は強さ、圓みはやさしさです。

◎青年の注文は

然らば、青年は、處女にどんな注文をしてゐるか。是こそ諸嬢の何は擱いてもきゝたいと要求せられることゝ思ふ。依つて大體の箇條を拾ひあげてみると

一、虚榮を戒め愼んで下さい。
二、着物を飾るより頭の中を飾つて下さい。
三、お白粉もいゝが、偶には、書物も買つて讀んで下さい。
四、農業の意義と尊嚴を識る樣努めて下さい。
五、都市を憧れて、田舍を去つて下さるな。
六、貧乏な青年だとて、一途に馬鹿にして下さるな。
七、身體をもつと丈夫にして下さい。

大體かくの如き注文の聲が多かつた。是も私は無理な注文でないと思ふ。至極尤なことゝ思ふ、然し皆さんは、こういふことは、常に心掛けてゐられることゝ思ひます。

今、一人の青年の文章を掲げてみませう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

◎この注文を聞け

『そりや皆さんも若い女として、美しい着物も欲しいでせう、輝くダイヤのリングも欲めてみたいでせう、女學校にも通つて見度いでせう、華やかな都の生活を羨みもするでせう、然し農村の處女否現代の婦人として、現實に目ざめられた諸姉達は、凡ての幼影凡ての憧憬を勇ましくも振り捨てゝ忠實に專念に家業に勵まれて居られます。實際女の身嗜みとされてゐるお化粧にすら拘つて居られないのです。然し農村の處女には白々しく塗り立てた白粧よりも、手や顏に着く土の方が尊いではありませんか。馥郁たる香水よりも、身體から絞り出した汗の匂ひが芳しいではありませんか、野外に出て働かれる諸姉達の身體は極めて自由に奔放に自然の儘に發育して行き、そしていやが上にも處女らしい美しさと姿とを增して行きます。脈管中には熱い然も純潔な血液が波打て居ます。そして全身體は生き〳〵とした健康美で滿されて居ります。之れが農村の處女の最良の化粧法ではありませんか此の健康美は他の如何なる美より尊い望ましいものではありませんか。否農村に在られる諸姉達は立派な身體と立派な心との所有者です。只此の上望ましいのは此の健康美に加ふるに知識の光生きた學問の力を以てせられん事です。それには處女會の事業としてもつと心の修養の方に勤めて貰ひ度いのです。かうして心も體も完全に改造された諸姉達は一家を改造し一村を改造し延いては全國家を改造するに何の至難な事がありませう。之れこそ眞の改造と云ふものではありませんか』

私は只今是等の青年處女たちの心の叫びを、一冊の書物に纏めてみたいと思つて居ります。青年と處女の僞らざる叫び、眞實の聲！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

◎詮じつめる愛

詮じつめてみると、青年も處女もまじめな人を理想とし、その人へ滿身の愛を捧げ、生涯の苦樂を偕にせんと望んで居るのであります。其が何よりたのもしいのです。青年が處女を嫌ひ、處女が青年を厭ひ、てんでに同盟して交際をよさう、結婚もよさうといふやうな考への青年男女は一人もなく、みんな神聖な交際、提携を望んでゐます、だからこそいろ〳〵の注文も出てくるのである。たのみに思ふからこそ、惡るい所を直して貰ひたいと考へるのである。そんならなぜ、虛榮に走つたり、お酒を呑んだりするか、是は今の世の中の風儀がよくない爲に、青年處女が本心を失つて誘惑されるのであると思ふ。一部の不良老人、不良婦人の爲に、良心が誤られるのである。男は不良老人をまねてハイカラになり、女は不良婦人をまねて虛榮になる。結局双方は得る所がないのである。『本領に立歸れ』そして、青年も處女もまじめとなり、まじめ同志が愛し合ひ、信じ合ふやうにならねばならぬ。さういふ美風を興すのが實に青年と處女のつとめである。これが社會改造の根本てこゝに留意されば他は枝葉の問題でひとりでに解決がつくと信ずる。

信實にして純潔なる男子と、信實にして純潔なる女子と結婚し、兩々相重んじ、相愛し、相敬する時、茲に始めて其の家庭の基礎築かる。斯かる家庭に生れ養育せられたる兒女は幸福なり。彼は完全なる父と母とを有するもの、其の幼年期乃至成年期が、すべて圓滿調和の發達を遂げんこと固より言を待たす

（『シンニー』）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

男子と女子との諒解

内務書記官
本會理事　田子一民

私は本會の理事の方々の推薦に依つて、理事の一人に加はつて、此れから處女會中央部の爲めにも、又處女會の爲めにも幾分の努力をする事になつた。

私は此の會に關係する樣にならなくとも、從來我が國の婦人の問題に就いては、種々研究もし、又考究もしたのであつたが、將來の我國の婦人は如何にすべきかと謂ふことに付きては、私としては今は研究時代で從來本會の主張して居る、強く、優さしく、眞面目に働けと云ふ事は、誠に結構でありますが、これだけで濟まされるかどうかは追々研究しなければなりません又先輩の方々の中には婦人の指導とか、其の行くべき道とかは最早や研究の餘地も疑の餘地も無い樣にきめて居られる人が多い樣であるが、私としては幾多の疑問を婦人問題の將來に持つて居る者である。從て私は處女會を指導する人の爲めに自分の研究を發表すると云ふ事は、幾分の勇氣を持つが、若い年端の行かない人に對して、彼れ是れ私の意見を述べると云ふ事が、果して適當であるかどうかと云ふ事は、私としても自から顧みて懼れる者である。しかし、私も婦人の爲めに、大いに力を致さなければならないと信じて居る一人でもあるし、又先輩の方である所の處女會中央部の理事の方々から切なる御勸めもあるので、今更狐疑逡巡して、之れを辭するのも、男子らしく無いと考へるので、敢て私の考を時々此の雜誌を通して述べる事にした譯である。而して、私の婦人に就ての考の一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

部分は、最近に發刊した「新時代の婦人」に述べてありますから、志ある方は一讀を願つて置きます。

さて日本婦人の將來は一言にして云へば、女子自身の問題よりも男子の問題であると思ふ。男子の考に依つて、女子は其の社會的幸福を得、又人類としての幸福になるべき筈であるが、若し男子の考が改まらない以上は、女子の問題は容易に解決のつくものではない、女子の一生の苦樂は他人に依ると云ふ樣に、人によつては如何なる無學者、品性劣等者、貧困者でも、若し幾分でも顏や姿が人に優れて居れば彼の學問もあり、相當な識見のある人よりも、立派な夫を選び、幸福な生活を送り得る人も少なくないし、又如何に人格の高い人でも、其の容貌と姿とが優れて居らなければ、不幸な一生を送る例が尠くない。美貌の爲めに身を誤る人も少くないけれども、又一面顏の優れて居らない爲めに不幸を喞つ人が更に多い事を思ふ時には、女子の苦樂は男子の女子に對する趣味に依つて左右せられる樣に思はれる。又其の趣味にしても、人格とか學識とか云ふのでなく、顏容ちが重い要素である事に氣の付く時、如何に女子は人生を樂觀し、平氣で愉快をしようとしてもこゝに幾多の矛盾、悲哀、煩悶、苦惱が現はれてくる。世には衆人稠座の中で孔雀の樣に女王の樣に、昂然と傍に人無きが如く振り舞ふ人でも心の中には、心の弱き男子よ、余が美貌を顧みよと云ふ樣な劣弱な考を起して居る人も、或は一面に其の身體弱く、靈の腐敗した女でも、其の顏さへ立派なれば、之れを敢て妻にすると云ふ樣な譯である。女は美の表現である事自身が男子の弄び者、戯れ者となつて居る樣な狀態であつては、如何に女子が智能を開き品性を高め、體力を錬つても、男子の趣味に合はない爲めに一生を不幸に送る樣になり勝ちであらう。故に女子の向上を圖るには、如何にしても、男子の女子に對する考へ方を適當にし、且つ正しくする事が必要である。此の問題が閑却され、男子に對し、女子に關する正當な教育が行はれなければ、女子だけに正しい人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

生觀を持たしめる事は困難である。

　女子の夫を選ぶ事は大部分不自由である。他の生物界では、良い種を保存する理由から、雌が雄を選ぶのであるが、人類の世界では人爲的であるか、此と全く正反對になつて、男子は多く女子を選ぶのである。女子の意思は常に輕ぜられ若し女子はその意思を適當に表はしても、その樣な婦人は、淫婦であるとか、浮氣者であるとか云はれ、世の指彈を受ける者が多い。勿論劣弱な乙女の誤まれる戀愛の如きは、大いに之を排せなければならないが、之れと同時に、一生の大事な結婚の如きは、男子と女子との人格的諒解に待たなければならない筈である。其れは今日男子のみが強き力を持ち、女は單に此れに從ふと云ふ樣な劣弱な地位にある事が、社會の爲めにも不幸である。私は女子の敎育體力及社會的地位を進める事に重き望みを持つと同時に、男子の自覺をも促さなければならない。例へば酒は其の子の爲めに不良性、低能性の原因を爲すと謂ふ事は學者の證明する所であるに拘らず、男子は自己の快樂のみを考へて、此の劣惡の酒害を受けた子種を妻に移して平然として居る人さへある。のみならず婦人問題を議する人でさへも、自からは酒盃を擧げて、其の妻を卑下して居る樂天家さへもある。而かも婦人は之れを當然の事の樣に考へて居るくらいである。いかにも忍び難い現象である。

　私から見れば、日本の婦人は無自覺に平和な生活を送つて居る。無自覺に泣いて一生を送つて居る。女の生涯は絶望の生涯で、涙の生涯である、悲しみの生涯である。屈辱の生涯である。それも長い間の習慣から女は斯くある可きものである。當然の事であるとしてある。世の處女團とか、處女會とかを指導して行かうと云ふ人が、女を無自覺から無自覺へ、無反省から無反省へ、盲從から盲從へ、屈辱から屈辱へ、成るべく目ざめぬ樣に、男子の都合の良い樣に、世の平和と云ふ樣な便宜主義に沒頭して行かうとする不眞面目を續けて居るのは私の常に物足らず思ふて居る所であるかゝる無自覺な人が多い爲め、家庭を厭ひ、婦人の天職を輕じ、家庭の妻、家庭の母であるべき婦人が家庭を捨て、遂には社會の妻になる樣な悲慘な事を惹き起すのである。私は、今の婦人問題は大部分、男子の問題であると思ひますが、此れから私は未婚の處女が如何にして夫を選び如何にして結婚生活に入るかと云ふ事に就て議論もし又根本的な疑の聲も擧げて見たいと思ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

理想的の結婚

本會理事　山脇房子

□

結婚は人生の重大なる務であつて、自己の將來はこれによつて左右せられ、一身の浮沈、一家の盛衰、またこれによつて消長すべきであります。然してその意義は、家系を重んじ、血統を繼續し、一家を經營して子孫の繁榮と發達とを計るにあります。かくの如く大切なる結婚をなすに當り、今日我が國では、終生の苦樂を分つべき配偶者の人となりも、性質も、趣味も、嗜好も、甚しきは職業も收入の多寡さへもよく知らずして、單に一度の見合によつて諾否を決定し、それも本人の意志を重んずるにあらずして、多くは兩親の意志に屈從するといふ有樣であります。斯ういふ風にして輕々しく結婚をする人は、後になつて自分の意に充たぬ事があつても、責任を兩親に嫁し、不平、愚痴を訴へて親を困らせ、終には親も娘も不幸に陷つてしまひます。

□

斯うした、中つたか外れたかと試みる賭事のやうな結婚は、考へて見ると實に危險な話であります。日本が世界に於ける離婚の最多い國と笑はるゝも、この根本の出發點を誤つて居る處に大部分の原因があるのであらうと考へます。故に結婚前によほど愼重に調査をする必要がありますが、今までは調査の條件として、財産地位などに重きを措いて居りました。然し是は、輕重本末を誤つたもので、それよりも夫たるべき本人が、妻として服從し、信賴し得る人格者たりや否や、又遺傳病並びに大酒家の血統にあらざるかなど、是等の方面の調査を怠つてはなりません。近來外國ではよ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ほど此方面の注意が深くなつて、遺傳病者や大酒家の子孫の悲しき運命を材料とした樣々な諷刺小說を公にして、一般の未婚者を誡めて居ますが、是等は人類改善の最上の方法として、益々研究すべきでありませう

◇

遺傳病や大酒の血統者は、一代に影響があるのみでなく二代三代の後に先祖の惡血を遺し、悲しむべき運命に泣く不具者、精神病者を自分の子孫に出すといふ事を思へば、結婚以前の調査の如何に重大なるかゞうなづかれませう。唯酒を飲むさへ酒毒のおそるべきものあるを、況してそれが動機となつて、汚はしい土地にも自然足が向き、一回が二回となり、遂には男子の貞操觀念は痲痺して、結婚前に純潔なる童貞を保つて清い處女をむかへる男子が殆んど數へられぬといふ嘆かはしい狀態であります。それ等の不德の男子を中心として作られた家庭は、誠に悲慘なもので、妻は良人の病毒を感染して、不遇に泣き、子孫は病毒を受けついで生涯苦しむなど、家庭の幸福は全然破壞されてしまひます。これ等は女子よりも寧ろ男子の道德心に訴へ度いのですが、女子がもし團結の力を以て强く構へ大酒家や遺傳病の血統の人とは全然結婚せぬといふ位の意氣込であつたならば、さういふ悲境から免れることが出來ませう。故に女子は家庭の幸福のため、將又子孫のため純潔なる一夫一婦によつて理想の結婚を心がける事が肝要で、これは唯自分、一個の幸福のみならず人類の大問題であります。

◇

又我國では、結婚の形式にとらはれ易く、人と人との結合といふ事を考へるよりも、家柄とか身分とかに重きをおき甚しきは調度の多寡に心を痛め、人もまたそれによつてその結婚の幸、不幸を噂する有樣で、眞實の意義ある幸福な結婚といふ事を考へる人は誠に少ないのであります。

「誰の娘は何荷の支度があつた」と人に噂されたいといふ親心から、不用の品物まで整へて、衣服調度に、千萬金を投ずるなど、愚かしい事ではありませんか。それらの費用を以て娘自身の學德を磨かせ、人格そのものを、嫁として立派なものに仕立てゝ嫁入をさせ、なほ餘裕があれば、金錢を持たせてやるといふ氣風を養ひ、貰ふ方でも一時的の衣服調度よりも、本人本位とするといふ習慣をつけ度いものであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

交換手の爲に

本會理事　嘉悅孝子

新名局長新任後電話交換手の智德の涵養に就て心を用ひられ、私に向つてその任に當るやうに申されました。私はかねてから處女會を通して地方に講演に參りましては、女工の敎育といふ事にも非常に心を寄せて、彼女等も將來家庭に入り妻として、又第二の國民の母として一家の處理をしなければならぬ身である以上、どうしても學德を修めて立派な人格を持つやうに準備敎育を與へなければならぬと申しつゞけて居ました。且つ又市內に數多い電話局に勤務する交換手の人格向上に就ても始終考へて居た矢先でありましたので、誠に結構な事と考へましたが何分私の學校に千人の生徒を收容して尙又、五千人に達する市內交換手の敎育をお受けするのは容易ならぬ事と熟考して居る中に、設備は着々とすゝんで行つて今ではすつかり膳立が出來て九月十四五日頃開校式を擧ぐるといふ事にまで捗りましたので、退引ならぬ事情となつて一旦お引受けしたからは何處までもやり通すといふ決心を致しました。

▽五千人の交換孃

何分にも五千人の局員――今からます〳〵增員して大正十二年には一萬五千人に達せんとする勢ですから、なか〳〵の大事業であります、兎に角市內十五局に敎師を出張させて女子商業學校の分敎場といふ事にして當校の別科といふ事に致しました。

修業上の效果は實際に當つた上でなければ申されませんが、まあ一年半勉學したら女子商業の夜學部に匹敵する位の實力を得る事が出來やうと思ひます。尙ま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

た、恁ういふ設備によつて交換手の智徳をみがく內に自ら刺激されて尙進んで向上し發展せんとの希望を抱くやうになりませうから、それ等の人々には尙進んで女子商業學校の速成科に修學さするやうに致しました。

▽茶生花までも

職務を有する彼女等の敎育には、如何なる時間を利用するかと申しますと、午後三時半より五時までの彼等の交代時間一時間半を毎日修學させる事に致しました此の時間は丁度局の交代時間でありまして、今から交換台に上らんとする者、又勤務を終へて交換台を下るものとを集めて敎授を致します。

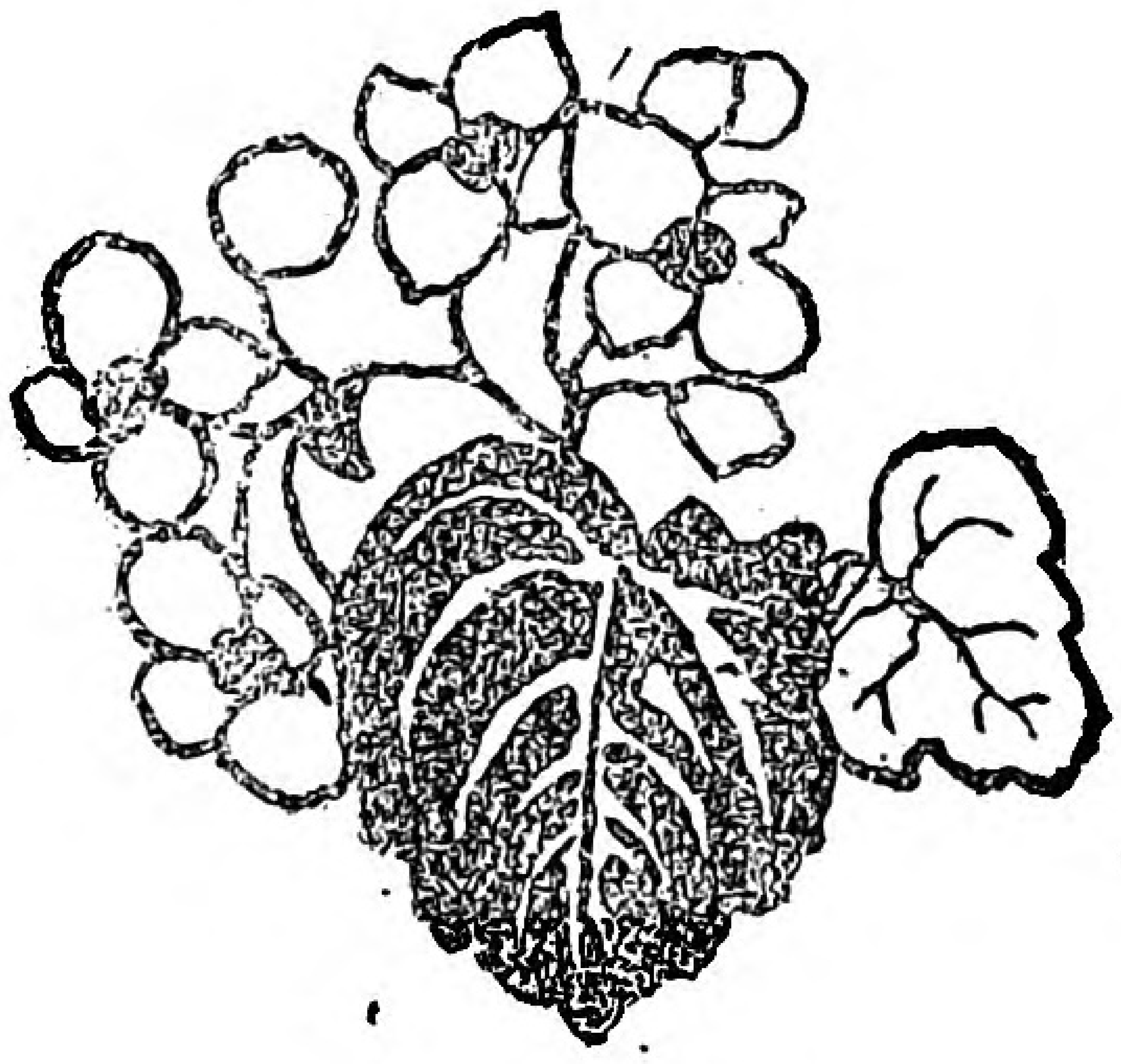
修業の學科と致しましては修身、國語、家事で國語には勿論作文習字を含み又此外に常識科といふものを設けて日常知つて置かねばならぬ智識を授ける事にしました、つまり博物、物理、化學、地理歴史、簿記のやうなもので、これだけを正科として全部に授け又隨意科としては茶、花、等思ひ思ひの趣味的敎育を施す考へであります。

▽將來の母として

今までにも隨分恁ういふ種類の敎育機關は考へられてをりましたが、何れも充分に成績を上げ兼ねましたが、今度は如何かして設備の完備に全力を注いで、眞に充實した敎育を實行し度いと思ひます。

今まで交換事務に不都合の多かつたのは實は局員の數が割合少いためで、交換手の募集には當局でも隨分苦心をされて居ましたが、恁うした設備が出來ますれば志望者も增加して、事務の進捗も見られ、加入者に對しても今までより便利をあたへる事が出來るだらうと思ひます。

交換手自身が將來妻たり母たるべき準備敎育としても、又交換事務に對する批難の聲を受くる今日、社會のためにもせひ〳〵一生懸命に骨を折つて見たいと思ひます。



秋季清潔法に就て

東京女子高等師範學校教授
處女會中央部理事
甫守ふみ子

◎恐ろしい黴菌の繁殖力

住居は家族相集り、雨露、寒さ暑さを凌ぎ、寝食を共にして樂みを受くべき所でありますから、常々清潔にして、家族が愉快に居らるゝやうに、心がけねばなりません。その大切な清潔といふ事を害するものは、塵埃と黴菌でありまして、それらは疊、障子紙、棧、額裏、諸道具に附着して、其他身體では「ふけ」又は衣類、夜具の綿等のやうな纖維、食物等あらゆる物に附いて外からも砂、土塵埃等、黴菌をふき込みます。そして腐敗菌、病原菌となつて食物を腐らし、又は空氣の中にまじつて、家人の健康を害します、その恐ろしい黴菌の繁殖力の烈しい事は全く驚く程で一つの黴菌が早いのは二十分毎に分裂します、その分裂した數がまた倍になつてそういふ事をくり返す速かさと申しましたら誠に想像も及ばぬ程で假に一つの黴菌が三十分毎に分裂すると定めまして一晝夜には 281.5000.00000000 と云ふやうな驚くべき數字が表れます。

　この恐ろしい黴菌は如何いふ狀態にある時が最も繁殖するかといふ事を考へて、一番繁殖し惡い狀態にす

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

る事が家人の最も大切な心得であります。夏は温度、濕氣、其他黴菌の繁殖し易い時季でありまして種々の昆虫例へば蚤、蚊、蠅、わらぢ虫、又は鼠の如きも一番繁殖し易い時であります、その反對に秋は空氣が乾燥して温度が低くこれらの黴菌の繁殖力が弱り又昆虫類も「さなぎ」になりますので此際に清潔法を行ふには最も適當の時季であります。

◎先づ第一に何をするが

順序としましては、一番初めに衣服、書物、簞笥、諸道具、什器を干し、日光に當てゝ惡いものは影で風を通し、それ〴〵手入をいたします、こんな事は同じ日に出來れば結構ですが前日にして置いてもよいと思ひます。二三日天氣のつゞいた日を選んで前の晩から一日分の食物の支度、茶やお菓子の事まで考へ用意して置かるゝものは殘らず支度をして、箒、雜巾、ソーダ、草履、ハタキ其他掃除の道具を全部揃へて置きます、そして一家内の者がそれ〴〵何をするかといふ受持を定めて誰は何をする、彼は彼處をと翌日まごつかぬやうにして置きます。

當日となりますれば早朝から家内中甲斐甲斐しい身支度をして、最先に建具をはづし入口近くにあるものから順序よく出して、風を通します、家具什器の中で日光に當てゝ差つかへのないものは外に並べて、よく日光消毒をします。それから疊を白墨か墨で印をして上げて、表と裏、殊に裏面に強く日光の當るやうにして干します。暫くして疊が吸ひ込んだ塵を拂ひ、輕くたゝきますあまり強くたゝきますと疊床の縫ひ糸が切れます。

室内は天井のやうな高い所から段々によく拂つて充分ごみが外に出るやうにします。

それから床板をはづして床下を掃き乾いた砂を床にふりまけば尙結構であります。それから床板をはめます際に床板の上に新聞紙を敷きナフタリンを置けばもう蚤は絶對に除かれ、黴菌の發生も防がれます。西洋紙を虫が嫌ふと申しますがあの新聞紙は印刷用のインキの匂ひを非常に虫類が嫌ふために疊の下や簞笥の下に敷くとよろしいのであると思ひます。

床板を入れて後は、疊を以前の通りに敷きまして押入、棚、板の間等を熱湯で洗つてよく搾つた雜巾でふき、それから疊をぬるま湯で拭きます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○思きつてあらゆるものを整頓する

大掃除に何も彼も思ひ切つて整頓するやうに、家具什器のぬぐふべきものはぬぐひ、修繕すべきものは修繕して、以前の通りに順序よく置きます。それから建具の塵をはらひ棚、雨どひ、蝶つがひの修繕、ねずみの穴、電線の皮がむけて居る個所、ねだ、土臺、白蟻、等綿密にしらべてもう一回雑巾で拭きます。

出來るなれば最初に天井棚全部灰汁洗ひ、ソーダ水て洗ふ事にして、紙障子も全部張りかへ度いと思ひます。

障子の切張は經濟上よいと言つて昔から賞められたものですが、日本紙は黴菌を漉してきれいな空氣を出入させますので、障子を全部張りかへるといふ事は見かけばかりでなく健康上にも結構な事ですから、出來るならなるべく此時に全部張りかへ度いと思ひます。

それから蠟燭のともしがらを利用して、麻の布に包み敷居をふきますと、襖障子のすべりがよくなります。

最後に台所、納屋、物置、便所を叮嚀に掃除して外まわりの蛛蜘の巣、庭木の枯葉枯枝、雑草をとり去りほこりのたゝぬやうに水まきをしましてガラス戸をガラス磨き粉、石油、工業用アルコール、等で両面からやはらかな布て拭きます。

これで大掃除は終るのでありますが、本當に家の中を清潔にしますには、平常ごみを作らぬ用心をして毎日の掃除を叮嚀にして、便所は毎日怠らずして、毎週一回は大掃除程でなくとも念入りに掃除をして、台所湯どの、物置は毎月日をかへて代る代る綺麗に片づけるやうに、心掛けねばなりません。

清潔といふ方面から考へますと、疊は、塵、埃を吸收し易く、又掃除に不便ですから、なるべく日本の家庭でも疊を少なくして、板の間か又は疊にうすべりを敷いたらよいかと思ひます。

前田眼科院で衛生上理想的にされたキルクの床は誠によろしい事で、費用は最上の備後表位かゝりますが永く保つ事と燒こげなどの出來た時、その少しの部分だけ修繕が出來る事から考へますと永い年月の間には濟經上にも利益であり衛生上にもどんなに好いかわかりません。

尚掃除の後家族が入浴しますにはどうしても湯殿の掃除は同じ日にする事が困難であらふと思ひますから前日か翌日かに廻したらよいと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

妻になる試驗

一　子供の悲鳴

お隣りからまた子供の悲鳴がきこえます。『馬鹿つたらありやしない、あれだけいふにわからぬのか、さあゆくならおいきなさい、勝手にどこへでもゆきなさい』カン高い奥さんの聲に交つて、火のつく樣な子供の聲そのとぎれ〴〵に『ごめんなさい、ごめんなさい』子供はあやまりながら泣いてゐます。と、ハタ〳〵敲く聲がします。子供は息がつまるやうに泣き叫びます。

二階からちよいと覗いてみますと、また例の子供でした。五つか六つ位になりませうか。その子が往來で仆れて着物をよごして來たのでした。格子戸につかまつて立つてゐますのを、無理に離して、どこへてもゆけといひながらお尻を敲くのです、奥さんは三十七八前后で、上品な人ですが、頬がこけ、眼が血走つて申し分のないヒステリー女です。

『あれだけいふにきかない、わからずやめ、こんなに濕つてゐるのに、出る子があるものですか、馬鹿奴つ』

二　是が正しい母か

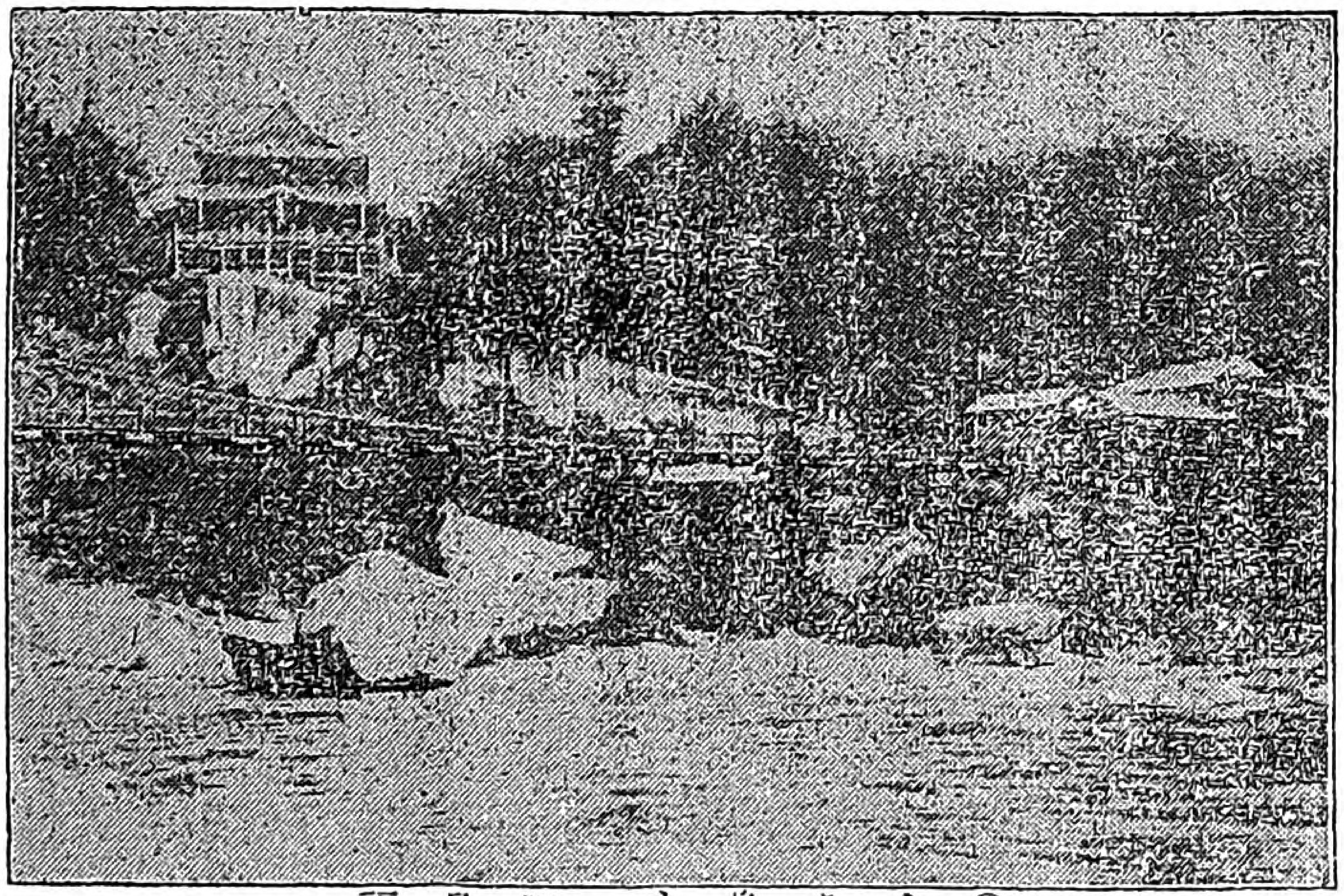
是が一日に三度位ですからたまりません。私はその度に、またかと思ふのです。その加減かその子は青白く弱々しく、よその子供のやうに、元氣でありません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

相當な家の暮らしをしてゐるのに、どうして母親はこうなんだらうと、他人のことながら私は心配になります。

全體子供といふものは、まだ思慮分別の固まぬものです。善惡正邪のけじめがつきかねるものです惡戯といひますが、其は子供の發達するに、必要な作業で、惡戯でなく、善戯なのです。家の中にヂッと考へてゐるやうな子供ならばきつとどこか身體に故障があるのです。大臣の赤子時代も、大先生の子供時代も同じことで、この善戯をしたものです、親は、只危險に陷つたときに、注意しさへすれば、あとは、放任してもいゝのてす。是から生長しようといふ子供と、もう老衰して、固くなつてゐる大人と同じに見てはいけません。

柳津靈嶺山福滿虛空藏



福島縣　永島ちよの

又親のいふことをよくきかぬ子供もございます、然し是もまだ聞きわけのない年頃ですから無理もありません。わかり易いやうに、噛んでふくめるやうに、いつて聞かせなければいけません。大人でさへ、其の罪をにくんで其の人をにくまずと申すではありませんかまして子供の罪は、愛して敎へねばなりません。馬鹿呼はりをしたり、敲いたりすることは、正しい母のなすべきことでありません。

三　心は常に平らかなれ

全體自分の生んだ子だから自由勝手だといふやうに考へることが、誤です。自分一人の子ではありません夫の子です。否夫婦ばかりの子ではありません。祖父母

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あつてこそ新夫婦も出來たのですから、自分の子は、祖父母の子です。否家の子です、我家は隣り近所の助け合ひで無事に治つてゆきます、してみると、自分の子は村の子です、之を推しひろめてゆくと、お國の子です、天子樣のたふとい子なのです。目に見えぬ神さまの御惠みとお力の許に生れた、子供と思ふと、其は誰の子彼の子といふ區別はなく、皆たふといのです。

從つて之を愛し導いてゆくことは、母たる人の一番たふとい仕事なのです。深い智識と深い愛情とを以て導いてゆかねばなりません。自分の氣持がわるいといつて子供にあたり、夫に叱かられたといつて我子につらくするやうな妻が、萬一あつたならば、其は正しい妻でありません。

畏くも　明治天皇は

　心にはまかせずとても人心

　　たひらかにこそあらまほしけれ

と仰せられました。

お隣りの母のやうに、いら〳〵した氣持でいつでも子供を叱り仆すやうなことは、尤もつゝしまねばなりません。ほんとうをいへば、母たる資格がないのです

四　母の資格のない母

全體今の日本には、妻になり母になる資格のないくせに、大きな顔して妻である、母であるといつてゐる女があることを殘念に思ひます。女學校へゆくにさへ試驗が入ります。妻になるのに、無試驗であるのは、妙であると思ひます。然し今私はお嫁入りの娘に「細君試驗」をなせといふではありませんが、少くとも、妻になる女は、妻たる資格を具へねばなりません。只(一)年頃になつたから(二)お化粧が出來るから(三)着物も出來たからといふやうにウハッツラなことではいけません。智識はあるか、常識はあるか、健康はどうか、子供をどういふ方針で育てるか、母たる人の覺悟といふやうなことを十分に考へて置かねばなりません夫が死んだらどうするかについても考へて置く位でなくてはなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

こう考へると、お嫁入りは眞劍なものです。只嬉しい、はづかしいといふものではないのです。恐れ、愼み、悩み、考へてするものです。タワイもなく妻になり、タワイもなく子を生んで、タワイもなく老ぼれてしまつては女たるの生命はない。若い娘はよく〳〵考へねばなりません。

五　子供をたゝくのは母の恥

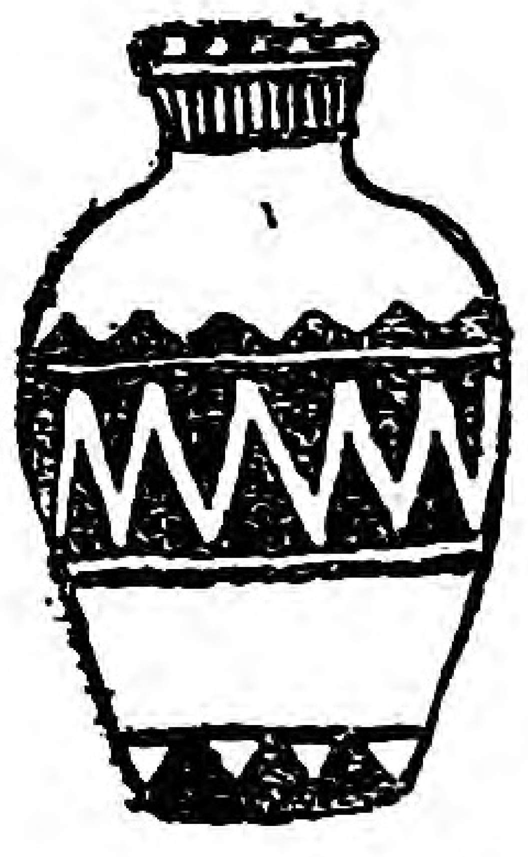
話しが横道に逸れましたが、母たる人は、一面に食ひつきたい程の愛情をもつと共に、一面には、冷やかな理性の力をもつて、我が子を育てねばなりません。叱言いふのはいゝのです、只其が自分の氣持からでなく、眞理の上から、愛情の上からの叱言でなくてはなりません。叱言は敎訓の變形したものです。子供だからとて、人格があります、頭から其人格を踩み躙るやうな叱言はいはぬものです。よく田舍の百姓家へゆきますと、馬鹿奴郎とか、小僧奴とか、餓鬼奴とか、甚だしいのになると、畜生といふやうな言葉を發する、親があります。子供よりも、私は、其の親の心が案じられます。又世間には我子を叱り我子の不心得を自慢相に吹聴する人がありますが、其は却つて自分の不德を發表するに等しいのです。

叱言は、道理の上から眞正の愛を以て徐ろに說かれればなりません。而も其はあまり度々いふものではないのです。已むを得ない時にのみいふものです。況んや手をあげるといふことはよく〳〵のことです。手をあげなければ治らぬといふ樣なことでは、親の敎育は誤つてゐます。全體手を擧げるといふのは、擦することです。横にさするのを縦にする丈のことです。愛から起らねばなりません。怒鳴をあげたりするやうではもう駄目です。

五　頭の箪笥へ

皆さんの多くはまだ赤ちゃんのない方でせう。しかしやがて大勢の母として育兒の大任を負はねばならぬ身の上です、今から妻になり母となる準備をせねばいけません。箪笥を買つて少しづゝ着物をこしらへて置くことも必要でせうが、其よりは、頭の箪笥の中に、智識といふ寶を少しづつ、貯へて置くやうにしたいと思ひます。着物は買はうと思へば、いつでも買へます電話一つで何萬圓の支度も出來ます。智識は一日二日では買はれませぬ。着物はよく保つたところでたかだか十年が關の山、智識は生涯使へます。處女會婦人會は、お嫁入りの智識を得る爲の會です。若い時に十分によい智識と尊い德とを學び得て置くことを切におすゝめ致します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



露と霧のお話

秋の野に置く白露を今朝みれば
玉や敷けるとおどろかれつゝ
（藤原元眞）

（一）露

夏の暑い日中には水分が盛んに蒸發しますから、空氣中には水蒸氣が増します。然るに太陽が沒して夜になりますと、殊にそれが晴れた夜でありますと、隨分涼しくなるので、地面や草木は冷えます。從つてそのまわりの空氣も冷えて、温度が降ります。茲に於て餘分の水蒸氣は水滴に姿をかへて草木につきます。之れが即ち露であります。故に露の出來ますのは夏の蒸發の盛んな時です。

しかし秋でも日中は可なり暑く、そして秋の夜長で、冷え方がはげしい爲めに、露が澤山できます。空に雲がありますと、丁度毛布を頭から冠つてゐるやうなもので、地面や草木の冷えるのを防ぎますから露は出來にくいわけであります。どうしても晴れた夜に多く出來るのです。それで月夜の露といふことが、よく書いてありますが、之れは月の光で露がよく輝くために、人の眼を惹くからでもありませうが、また一方では月夜は晴れてゐるので露が夥しく出來るといふことにもなりませう。

白露を玉になしたる長月の
有明月夜見れど飽かぬかも

また風が吹いてゐますと、空氣がよく混じますから、草木の周圍にある冷い空氣も拂はれて、他から暖いのが、やつて來るといふ次第で、其所だけが特に冷えると云ふことになりませんから、露は出來ません。露の多いのは、風の無い折です。此點から申しますと、彼の谷間などは水分も多いし、風通しも惡う御座いますから一番露が出來やすい筈であります。又同じ樣に、戸外にありましても、石や土は近所から熱をひき易いので、さう大して冷えませんが草、殊に草の葉とか花でありますと、甚だ冷えやすい。それゆえに露が出來やすい。草葉の露といふ形容句のあるのでもわかります。かやうに、夜分に露が出來ましても、旭日がさして來て温度が昇りますと、また水

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

分は蒸發して元の水蒸氣となり、空氣の中に影を隱してしまひます。其の消え行くさま、如何にも果敢なく脆い。此の邊からして露は果敢ない消え易いものに譬へられて居ります。

（二）　霧

夕方になると川の上によく霧ができます。之れは日が暮れても、河水の上はさう冷えないで水分が蒸發するのに、上方の空氣やあたりの山は最う寒くなつてゐるので、水蒸氣が凝結して、微細な水滴と化して、空中に懸り浮んでゐるために現はれるのであつて、俗に此の種の霧を**淡霧**と申します。翌朝になつて旭が出で氣温がのぼると皆んな消えてしまひます。この有樣を歌つたのが百人首の中にもあります。

朝ぼらけ宇治の河霧たえ〲にあらはれわたる瀨々の網代木

また曉霧と名づくる霧がある。これは朝早く、雲が無くなつて晴れたときに、氣温が反つて降つた爲に、空氣中の水蒸氣が凝結して、水滴になつたとき出來る霧ですから、太陽がやゝ高く昇れば、氣温は再び高まつて、霧は蒸發し、跡方もなく消え失せて、眞の快晴になります。それゆゑ曉霧は實は天氣の好い結果生ずるのであります。川などのある所は濕氣も多く、また晝夜の温度の差も大きいからして、斯樣な場所は殊に霧が多い。信州**川中島**の曉霧などは有名な其の一つです。

此の外に、もつと大仕掛な霧がある、北海道殊に十勝の國あたりで、最も多く見られるもので、秋の頃、地面は冷えても海の方はまだ暖いため、海面を吹いて來た温暖な水蒸氣を含んだ風が陸地に當つて、其の中の水蒸氣を出すことに依つて生ずるのです。

又暖い海の上から吹いて來た風が冷たい海上に來ると、そこで水滴になつて、やはり大仕掛な霧を生ずることがあります。例へば我が日本の南岸を洗うて通る**黒潮**といふ暖い海流と、北海道から東北地方の東岸に沿うて流れて來る寒冷な海流とが、陸前金華山の沖あたりで衝突する。茲に於て其等の海流上の空氣が互に混ずるので霧が起る。これを東北地方では**ガス**と呼んで居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

知って置くべき事

一、虎列刺病の豫防は臺所で

病は口より入ると申しますが虎列刺病は全く虎列刺菌が口から這入って腸を侵すためでありますから飲食物を調理する方々は此の際特に細かい注意をもつて其の防禦に勉めねばなりません。然し此の怖るべき虎列刺菌も高温度に對しては割合に弱い。攝氏六十度の温度に逢へば廿分間、八十度ならば五分間、百度ならば二三分間にして死滅するとの事でありますから其の豫防法はさして難澁なものではありません。私共がお鍋に物を入れて煮る。沸騰した温度が百度でありますから凡て飲食物は一たん煮沸して頂きますれば安心であります。魚、肉、野菜など何れも煮て食べる樣に致します。燒いてもよろしいのでありますが時に心まで高温度に至らぬ事がありますゆゑ煮る方が安全であります次に鹽漬、酢漬のものは鹽や酢が殺菌力のあるものですが煮沸する程には參りません。殊に心まで及ぶかどうかわらない程でありますから此際生物同樣に避けねばなりますまい。大根おろし、生葱、茗荷などの藥味なども見合はすべきであります。香の物は適當に漬けたのなら差支ありません。澤庵漬や梅干なら全く安全であります。梅干は食事毎に一粒乃至二粒づゝ食べます事は大にお進めしたいのです。

飲料も酒類、サイダー類何れも差支ありません。水は一度煮沸し、果物は鹽をつけて頂くのがよろしい。魚、肉は野菜類より腐敗し易いやうに虎列刺菌もつき易いのですから、とりわけ新らしいものを選ばなければなりません。

それから臺所、戸棚、食器、調理器は絶えず清潔を旨として、掃除、洗濯、日光に曝す、或は風を通す等怠ってはなりません。蠅は此の際媒介する憎むべきものとして極力驅除に勉めたいものであります。石油一合に石鹼末一匁乃至十匁加へ五合の水で溶かし更に水九升程で薄め便所、塵溜、汚水溜、溝など時々撒

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

くやうにすれば蝿の卵を絶す事が出來ます。

二、どんな體格が遺傳病の素質を有するか

遺傳病素質の特徴は何う云ふ所にあるかと申しますと、之れは癆瘵質と云つて、第一胸廓が扁平て狹い。頸が細い。筋肉殺けて肩尖り鎖骨突出し肋骨が露はれて居る。皮膚が透明非薄で、顔は白いが頬に赤味がある。歯が並外れて白い、眼が凹み、頬肉少く頬骨の突出して居る者が多い。少し運動をすると動悸が強く、息切れがする。一體に癆瘵質の人は男にしても女にしても美人が多い、特に婦人には美しいものが多い。然し此の素質を有する者は必ず肺結核に罹るかと云へば必ずしも然うと定つて居るものではない。此素質を有するものは結核菌に冒され易い、即ち肺結核に罹り易い多くの弱點のある體質であるといふまでゝす。

三、粥を美味しく造るには

粥を煮る時、中途で度々かき交ぜると、風味悪しく且つ口當りわるくなります。又一度沸騰して後も長く強火で煮ますと、米の香氣が蒸氣と共に發散しまして味が悪く何の甘味もなくなります。それ故に五六分間沸かせて後は、極弱火で蒸煮にします、病人などにすゝめます時には、五勺位づゝ度々、火鉢で土鍋を用ひて煮ます方が、便利であります。此時は一度沸騰して後は、火の上に灰をかけて、とろ火にして煮ます。藁火なればなほ結構であります。若し壯健なる人の食用として三四合煮ます時は、一度沸騰してまゐりまして、五六分しましたら、ふきこぼれぬ程度に蒸煮を二十分間ばかりいたします、此時は薪は一本程が丁度よろしう御座います。

尚又いも粥と申しまして、甘藷を三四分又は五六分の角に切りまして十分灰をぬきまして米の量の半分程入れますと、誠に美味なものが出來ます。鹽を入れますことを忘れてはいけません。米はすべて、用ひます四時間前に洗ひますのが、一番よろしう御座います。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

小説

友情（その三）

深緑

△

村はづれの古い小さい家に九年の年月を生ひ立つた靖代は父の死――兄の家出、と幼い胸にあまる悲しい事のありたけを味ひつくしました。

「靖さんもう何時だらうね、夕飯の支度をしなければなるまい」

母は仕立て上げた美しい友禪の袷を膝にのせたまゝせつせとランプの掃除をして居る靖代を見ながら低聲で言ひました、夕暗にも目立つ母の白髪、額の皺が五十になつたばかりとは思はれぬ程年老ひて見ゆるのが靖代の小供心にも涙を誘ふのであります。

「お母樣私これがすんだら御飯の支度をしますよ」

と氣をとり直して石油臭い手を新聞紙でふいてまわりを甲斐甲斐しく片づけました。

「それぢやねお豆腐を買ひに行つておくれ、それから行きがけに河村さんのお宅にこれを持つて行つてね」

押入から風呂敷を出して出來上つた着物をきちんと包み乍ら

臺所手引

割醤油

主として蕎麥、天麩羅等に用ひられまして、水三合を火にかけ煮立てゝ茶呑茶碗に一杯の鰹節と醤油四勺、砂糖九匁を入れ上面に浮く泡を掬ひ取り、篩能にて漉したもので有ります、此れは普通の味加減でございますが、天麩羅には大根卸し、卸し生姜等を附け、是等は水分を含んで居りますから、心持ち鹹目に拵へまして丁度好くなります。

合せ醤油

醤油八分、煮出汁二分の割合にて混ぜ合せたもので、主として刺身に使ひます、刺身には普通生醤油を付けますが、合せ醤油を使ひますと一層美味しく食べられます。

甘藷の葛煮

細ぎ甘藷を、小口より三分位の厚さに切り、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「誠に不出來でしたと申して差上げるんですよ、途中で落して汚したりしないやうに氣をつけてね」

「えゝそれぢや行つてまゐります」

靖代は風呂敷包をかゝへて家を出て淋しい道をとぼ〳〵と歩いて行きます、靖代が手に持つ友禪の袷は高子の晴着で今年の秋の村祭に高子を美しく飾るために新らしく調へられたもので靖代の母は昨晩も遲くまでかゝつて縫ひました、靖代と高子は同じ十三て學校も同じ級で敎室で机を並べて居る間は何をさせても靖代の方が高子より上手で氣立も優しく眞實の人間として比べたら靖代は高子よりもずつと〳〵立派ですのに、不運な家に生れた悲しさは、授業の時間がすむと財產家に育つ高子のために壓へつけられて、靖代の成績の好いのを妬む高子の味方が、一日一日多くなると反對に、靖代に眞實同情してくれる友達は繁野の外には一人もなくなりました。

心せわしげに歩く靖代がお宮の前を通る時河村高子を始め咲子久江、友子、花子、等が高子の家來のやうになつて遊んでゐます、まだ遊び足りないのか日暮れにも氣づかぬらしくきやつ〳〵と騷いで大きな聲で、何やら歌を面白さうに歌つてゐます。聞苦しい

皮を剝いで角面を取り、水を入れて晒らし酒と味淋を煮立てた中に入れ、少量の鹽を加へ柔かに煮て 深目の器に盛り 薄葛餡をかけて 出します。

薄葛餡の作り方

味淋四勺、醬油四勺、を杓子にて掻き廻しながら煮つめ、煮出汁三合を加へて味加減を見て鍋を下ろし、水で溶いた葛を入れて掻きまわし再び火にかけて葛がどろ〳〵になつた所をかけます。

野菜けんちん汁

人參の皮を剝き、細く亂切りにして置きます。大根は銀杏形に切り、小口より一分位の厚さに切ります、里芋の皮を叮嚀に剝き、小口より二三分の厚さに切りざつとゆで水にて洗び、目笊に上げて置きます、椎茸を水に浸けて柔かになし、軸をとり、熱湯に入れてゆで水に入れ上げて搾り、大きいのは四ツ割、小さいのは二つ位に切つて置きます、鍋の中に少量の胡麻油を煮立てゝ豆腐をいため、煮出汁を加へ、人參と大根を入れ、暫く煮込んで柔かになし、里芋と椎茸を投じ醬油を入れて味加減を試みて器に盛ります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

歌の一節が止んだと思ふと下の川端を通る靖代の哀れな姿を眞先に高子が見つけました。

「下をごらんなさいほらね」

高子に教へられて一同は一齊に靖代を見下して

「まあすまあして行くのね」

「それあ友子さん出來るんですもの」

△

靖代は此處をぢつとがまんして母の命令通り仕立物を抱へて急ぎ足に行き過ぎやうとしました、その時一番いぢわるの咲子は石段を駈け降りて故意と靖代につきあたりましたので靖代はお宮の横を流るゝ小さい川に片足をすべらせて「あつ」といふ暇もなく大事な風呂敷包みの端をぬらしてしまひました。

「まあどうしやう」

靖代の泣き出しさうな樣子をみて咲子は氣の毒に思つたか何も言はずに石段を登つて一同の蔭にかくれました。高子も何んだか妙に氣が咎め出して、

「蛙が泣くからかへろかへろ」

と聲を揃へて歸つて行きました、その後姿を怨めしさうに見送つてびつしよりぬれた裾のあたりを持ち上げるやうにして這ひ上つて大事な風呂敷包を開きました、見れば母が昨晩も遲くまでかゝつて苦心の結果縫ひ上げた美しい友禪模樣の高子の袷は、四つに

三井寺揚げ

豆腐を拭巾に包んで輕い押をして水氣を斷つて置きます、人參は極く小さいあられ、又は纖に切り、柔かにゆでます細隱元の莖をとり柔かに鹽ゆでとなし、冷まして小口より小さく切ります、椎茸を生湯に浸け、上げて搾り人參と同じく小さく切り熱湯に入れてゆでゝ水に入れ、同じく搾つて置きます、それから摺鉢の中に水氣を斷つた豆腐を入れて摺り、人參、細隱元、椎茸を混ぜ、二錢銅貨位の小饅頭をこしらへ、煮立つた胡麻油に入れて黄色に揚げ、目笊に入れ、熱湯をかけて油氣を拭き散血に並べ煮出汁、砂糖、醤油にて美味しく煮含め、深皿に盛り煮汁をかけて出します。

漬物

澁柿の香物の仕方

これは甚だ重寶な漬方で寔に廢物利用法としても大に經濟的のものであります。

柿は何種の澁柿によらず、よく水洗をして、直ちに皮を剝き、そのまゝ竹簀の上に列べ、半日ほど日光に曝して取込み、それより普通の糠味噌の中に漬込み其まゝ五六日間ほど經て取り出せば、程よく澁氣は脫けてよい味となります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

疊んだ肩のあたりと脇のあたりがぬれて縮んでしまつて居ます。

「まあどうしやう」

靖代は自分の膝から下がびしよぬれになつて居る事も忘れて、胸がどき／＼と波うつて涙は止め度なく頰をつたはります。

「あらまあ靖代さん――」

此時黒板塀の裏門を開けて走つて來たのは繁野でした、靖代の涙ぐんだ顏とぬれた裾のあたりを心配さうに見て靖代の側に近づいて不思議さうに尋ねました。

「ねえ靖代さん貴女は如何したの？」

再び尋ねられて靖代は張りつめた氣が一時にゆるんで、

「繁野さんわたし……」

口惜しさ悲しさで胸が一充になつて、もう靖代は聲が出なくなつて泣き入るばかりてす。

「まあ家にお入りなさいよ着物がびしよぬれてすわ、オヤッまあこのお母樣の仕立物もぬれて、――あら大變」

繁野も友の容易ならぬ難儀に靑くなつて、共々に涙ぐみながら靖代の手を引いて勝手口から家に入りました。

優しい繁野のお母樣は今あつた出來事を靖代から聞いて

「まあ何といふ亂暴でせうまるで男の子のやうな」

と高子等の意地惡を腹立しく思つて靖代を慰めて下さいました。ぬれた仕立物は如何なりませうか。（つゞく）

牛蒡の奈良漬

若い牛蒡をよく洗つて本末を切りさり中程のよいところを五六寸の長さに切つてこれをざつと湯煮をし水氣を拭ひ酒の粕に浸けて置く。若し太い牛蒡であらばなるべく肉の緻密なのを撰ぶ。すの立つた樣なのはいけない。

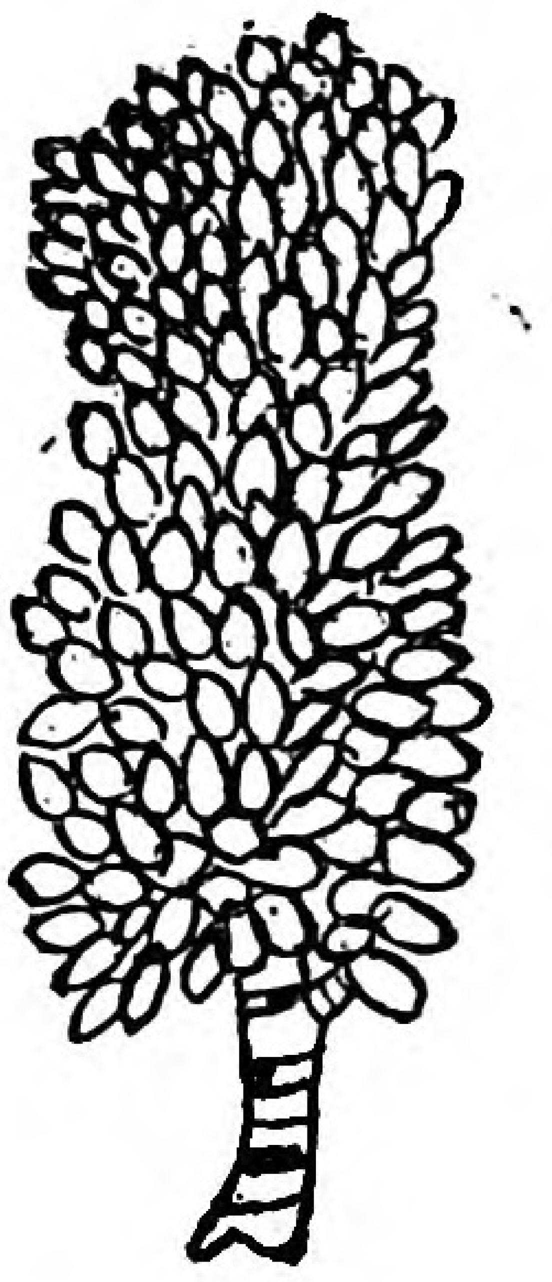
冬瓜の味噌漬

冬瓜の小さいのを選び濡れ布巾で表面を拭ひ適宜の大きさに切り漬け桶の中に程よく鹽をふり込んで右の冬瓜を漬け込み壓蓋をし壓石をのせ一日置いてとり出し布巾で水氣を拭ひそれから味噌の中へ漬け込む時々味噌をかへては漬け替へ日の當らぬところに蓋をしておき半年の後食べる。

茄子の卯の花漬

中位の茄子を撰び蔕をとり水洗して切つて置き。別に豆腐粕に鹽をまぜ兩手でよく揉み合せ漬桶の中に一寸程の厚さに入れ平らに均し茄子の間をはなして列べる茄子と茄子との間には萬遍なく豆腐粕をつめ又前の如く列べては豆腐粕をつめて壓蓋を入れ强い壓石をのせ水が浮いたらその壓石を少々ゆるめる。かやうにして三ヶ月ほど立つてから食べる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



哀話

悲しき乙女

幸子

中國山脈の麓大田川の上流のとある淋しい農村に憐れにも悲しい運命をもつて生れたこゆりといふ少女がありました。性を藤岡と云ひ貧しい家に生れましたけれども豊けき自然の惠と温い父母の情に七つの年迄世の憂き風にもあてられず、其名の如し清く成長致しました。けれども悲しいことには丁度其頃父は隣村の大普請に雇はれて行つて屋根の木を操り上げる時誤て下へ落ちたのが最後、一生の別れとなりました。母は敢ない父の運命に、寂しい涙を絞らぬ日とてはありませんでした。

そしてあまり强からぬ體は日に日に細るばかりでした。こゆりはまだ小さいので金になるやうな働きは出來ず只近所隣の人達のお使に行つては二錢三錢を貰つて貧しい日を送つて居りました。ですからそのまゝにしておけばきつと饑えて生きて行けなくなるかも知れぬと人々が噂する樣になりましたが、誰一人としてこの親子を引きとつて世話してやらふといふ人はありませんでした。ところがこの村の吉崎といふ父が世話になつてゐた地主の旦那は、非常に親切な思ひやりの深い方で見るに、見兼ねていろ／＼近所の人と相談の結果、とう／＼母親の方はこつちで見てやることにして、こゆり丈けは他所の家に子に貰はれて行くことに決めました。

あゝそのときの母さんの心。こゆりはまだやつと七つ可愛い盛りの只一人の娘。

然しこうなつては何と思つても仕方がありません。たくさんの人達の親切を無にする理にもまゐりません、また生きて居れば逢ふ日もあること故二人して乞食して人の門に憐れを乞ふよりはと、死ぬ樣なおもひで、母と子は別れました。それは雲雀も子供をつれて巣立ちする六月のはじめでした。

「お母さん」とすがりつけば

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「ゆりさん」と抱きしめて。
あゝ二人が別れる日の前夜の涙は誰れが量り知ることが出來ませう。
このゆりさんが貰はれて行つた家は他に子供はなく可なりの財産家でありましたが、その父は吝嗇家として有名な人でありました。
この家へは十四五年前に養子に來たので、何でもこの家に來る前に二度迄も他家の養子になつたことのある人で、みなその家の財産を横領して今日の富を作つたとの事です。
然してゆりさんにはどうしてそんな怖いおぢさんといふことが分りませう、別れるときの母樣の御言葉を忘れず亡くなつたお父さんだと思つてよく仕へて居りました、けれども國元の母上の事を思つては一日も涙の乾く日とてはなく、夕暮れの黒い山明い星の瞬きを見つめては知らず知らず涙が頰をつたはりました。騒がしい蛙の聲も小さいゆりさんの胸には限りない哀調となつて流れ泌むのでした。
『お母さん……、あゝ今頃は……お母さん』と傾く月にことよせ、行き交ふ雲に訴へて幾度泣いたか叫んだか分りませんでした。
けれどもそれは何の甲斐もありませんでした。父は最少し大きくなつて、ひとりで行ける樣になる迄は旅費が懸つて損がゆくからと云つて、ゆりさんの願を容易にきいてくれませんでした。
そうしてゐるうちに二年すぎてゆりさんも九つ小學校の二年。漸く手紙が書ける樣になりました頃假名ばかりでなつかしい母樣あてに眞心をこめた手紙をかきました。
そしてその返事を一日千秋のおもひして待つてゐました。けれども幾日立つても何の便りもありませんでした。
電報！　悲しい音づれはゆりさんが案じ暮した半年の後にありました。
あゝそれが母樣の永別のしらせとは。
まあ何事でせう。然し夢でも間違ひでもないこの事實をどうしませう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「あゝ母樣‼母樣はなぜ死んだ。」
叫んでも泣いてもう〳〵母樣はこの世のものではない。
思へば思ふほど涙が涙に續きました。

それからはゆりさんは一層淋しい人になつて行くばかりでありました。
後で委しい手紙に依れば丁度庭に咲いてたあの露草の儚くしぼんで行く樣に、いつとはなしに弱つてゆく其體にいつかひき込んだ感冒、其が因となつて二三日前から床につき急に熱が出て亡くなつたとのことでした。

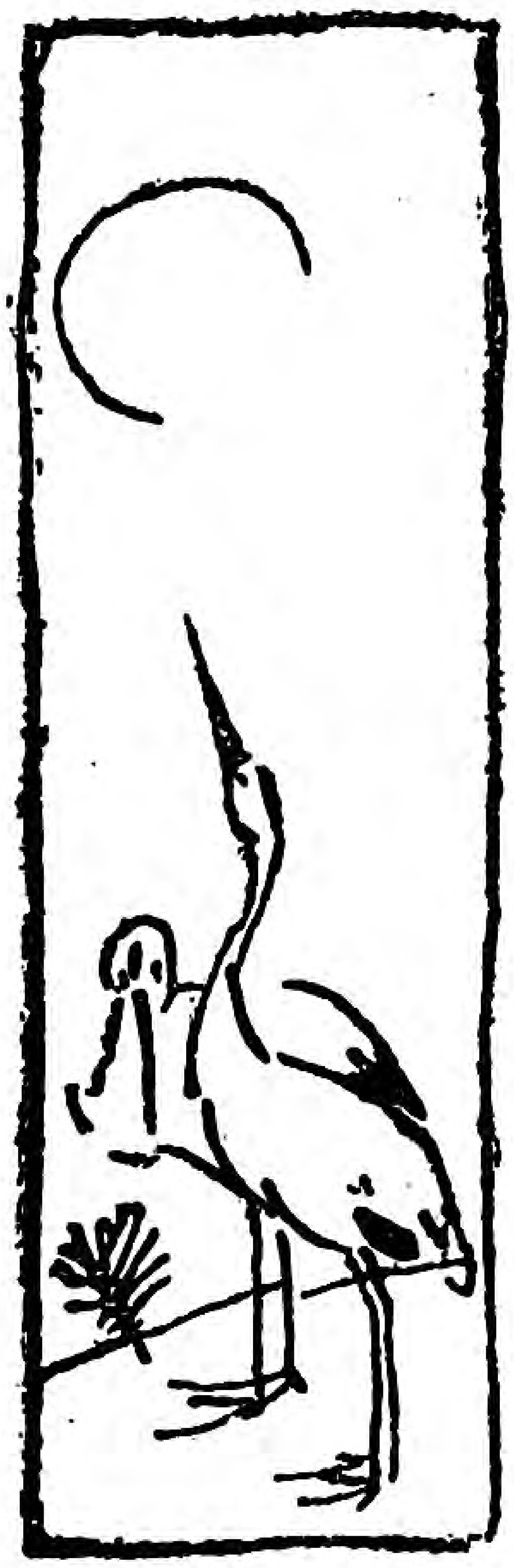
泣いても泣いても泣き切れぬゆりさんの嘆きあゝなぜ一度逢つておかなかつた。母さんはきつと心の中で妾の名を叫んで亡くなつたでせう。
涙は涙に續きました。

ゆりさんが泣いてますと今の母さんはいやな顏して、
『いつ迄思たつて仕方のないことぢやないか、こんなに迄よくしてやるのにそんなにめそ〳〵してゐる人があるものか。』とははしい顏しながら
『若しこの家に貰はれなかつたらお前は一生古けた家の乞食娘として貧乏に送らなければならぬのに少しは身のほども考へて今の幸福を感謝しなければならぬ。』
と母子の情知らぬ今の母さんはつれなく叱るのでした。
それが近頃になつて度々耳に強く響く樣になりました。
ところがその年の秋今の兩親に子供が生れたのです。こゆりの弟が出來たのです。
さあこうなると兩親の愛はどうしても弟の方に傾きま。可愛相なのはこゆり。
その子が男の子だけにだん〳〵邪魔扱ひにされる樣になりました。
淋しいこゆりの顏は一層淋しく眼はいつも露んで居りました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

私の好きな娘

白雲



(一)愛嬌のある娘

第一に、愛嬌のある娘が好きです。人なつこい優しい、にこ〳〵としてゐる娘が好きです。といつて、わざと嬌姿をつくつたり、媚びるやうな風をする娘は好きません。ほんとうの愛嬌は、つゝしみ深い、優しい、上品な娘の心が、頬に、目に、口に、現はれたものです。つくつた愛嬌でなく、自然に現れる愛嬌がたふといのです。

どんなに顔かたちがよくとゝのふてゐても、色が白くとも、姿がよくとも、ツンと澄ましたり、氣取つたりしてゐる娘は、物足らぬものです。私は、顔の美人より心の美人が好きです。心が美しければ、姿も何んとなく落ちついて上品になります。愛嬌も一種の道德であります。

(二)ハツキリとした娘

第二には、ハツキリとした娘が好きです。心に思ふこと、考へたこと、聞かれたことを、ハツキリと話す娘が好きです。といつておしやべりや、差出口する娘はきらいですが、自分の思ふことを話すことも出來ず、人にきかれて返答も出來ないやうな、グズ〳〵した娘は大嫌ひです。昔は無口を尙びましたが、其も場合に依ることで、話さねばならぬことを話さぬのは、ほめるべき無口ではなく、恥づべきことです。

旅をして道を迷つて困る時があります、娘さんが通りますので、聞きますと、うつむいて默つてよく敎へてくれません。處女會などへいつて、いろ〳〵聞きましても、めい〳〵で小さな聲で囁き合つて少しもハツ

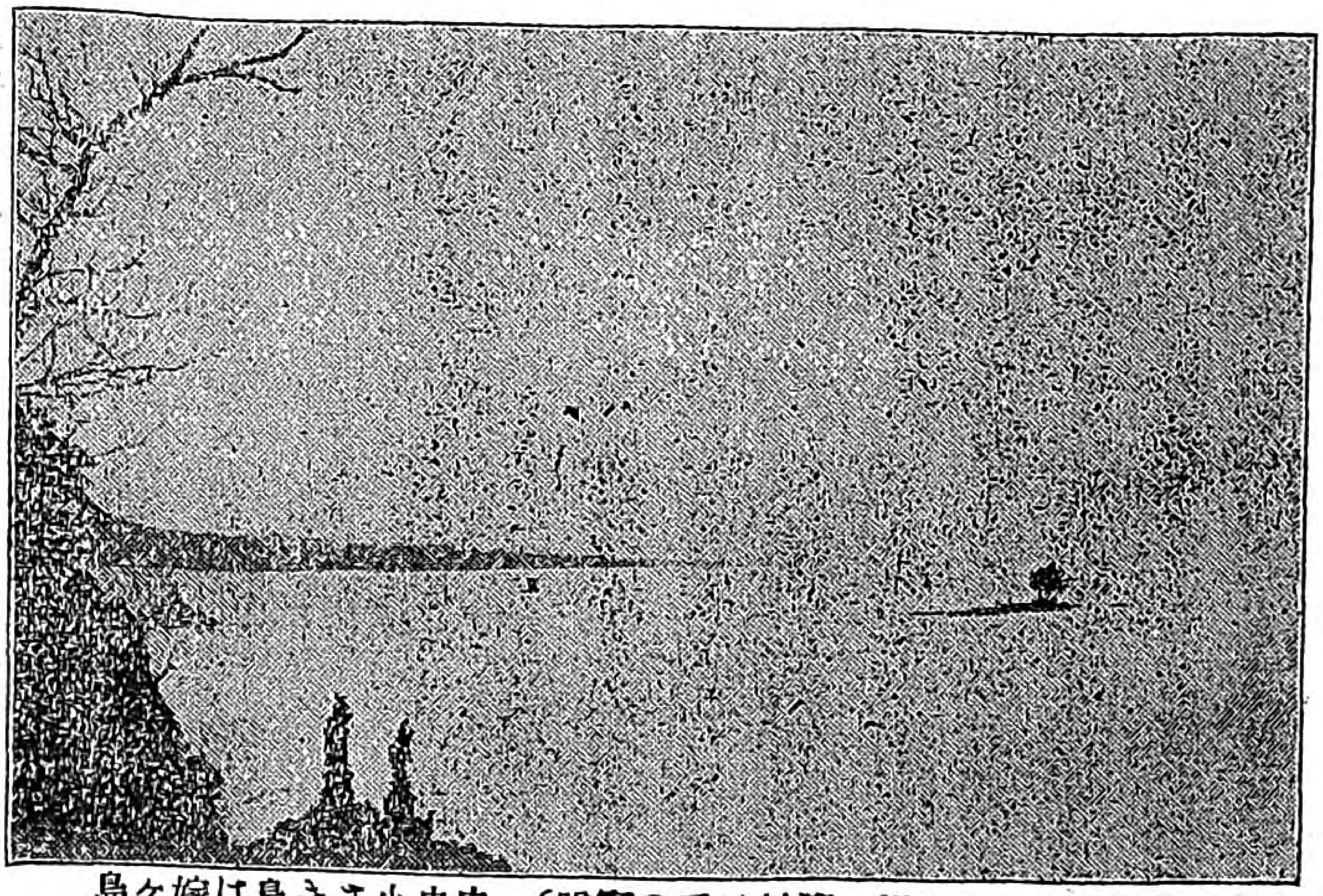
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

キリ答へません。

そのくせ、娘ばかりの時には、随分よけいなことをおしやべりするさうです。私は言語のハッキリとして、自由に意志を發表する娘が好きです。

(三) 心のひろい娘

第三には、心のひろい娘が好きです。陰口をきいたり、人のあらをさがしたり、人の欠點を人にふれてあるいたりするやうな娘は好きません。嫉妬や疑ぐりは、心が狹いから起るのです。心をひろく、ゆたかに持つて、誰をも愛し、信じる娘が好きです。わる口いはれたとても、腹を立てず、氣にもかけず、却つて、いゝことをいつてくれたと感謝するやうにならねばなりません。凡て憎いと思ふ心をはびこらしてはいけません。



宍道湖の夕陽（島根　濱村ひでの寄贈）中央小さき島は嫁ヶ島

女はとかく、他の人のほめられるのを聞いたりみたりするのがいやな性だと申します是は恐らく女の本心てはないでせうが、こういふ噂の立つといふからには、胸に手をあて、内に省みねばなりません。友だちと喜び、悲しみを偕にする、さうなければなりません。ほめられたといつては、嫉妬し、よく出來るといつては羨しがり、いゝ着物をきてゐるといつては、妬むといふやうなことては、到底ひろい心のある女と言はれません。自分は苦しんでも、他人の樂しみをみて喜ぶといふやうにならねばなりません。

(四) 物のわかつた娘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

第四には、悧巧な娘が好きです、悧巧といつても、女子大學を出なければならんといふのではありません、學者でなければならんといふのでもありません、物事を深く考へ、落ちついて處理することです。女は思慮が淺いといはれます、感情に馳せて、カッとしてしまひ、あとで、後悔したり、泣いたりします人があります。ゆつくりと考へ、落ちついて事をする娘が好きです。

又女は、物事を早のみこみしてしまひ、研究する心が足りません。細かな所に氣をつけると共に、遠い所にも目をつけて沈着て事をする娘を好きます。

(五) 深切な娘

第五には、深切な娘が好きです。是は優しい心と一致致します。恐らく是が女の一番のたふといことでせう。どんな美人ても、深切心が足りないならば、梅に匂なきが如く、ねうちがありません。女は深切の結晶でなければなりません。愛は深切のことです。この心は、誰もつてゐるのですが、修養次第で、この深切の心が深くもなれば、淺くもなります。學問とは別です。深切は目から出ると涙となり、頬に出ると、ゑくぼになります。親孝行も深切、兄妹思ひも深切、生き物を愛するのも深切、道具を大事にするのも深切です。

以上五つの條件をそなへた娘さんを好きます。

中央部より

回理事會

九月十八日午后一時半より麴町事務所に於て理事會開會、吉岡、山脇、嘉悅、甫守、大江、高野、宮田、福島、田所、天野諸氏出席、來春四月全國處女會指導者代表者大會開催の件其他重要事項を協議し、午后五時散會せり

□天野理事寄附

曩に高野理事本會に對し百圓を寄附せられしが今回又々理事天野藤男氏より本會へ金百圓を寄附せられたり、中央部は深く同氏の厚意を感謝するものなり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女新報

十月號

虫干

空高く氣澄む秋の時節が最も適當であると聞きました着物や什器等すべて長く保つも早く痛むのも手入一つで御座いますから充分叮嚀に手入をなさいますやうに。

流行性感冒

恐ろしい流行性感冒がそろそろ頭を擡げて参りました、主に今迄流行性感冒に冒された事のない人が罹り易いと申します。夜寝冷をした爲に風を引いた人に多いさうでございます、其病状は之迄のものと全く同一で咳嗽と喀痰が出て甚しいものになると共に血痰が混つて居りますので一寸見ると肺結核と誤る事があります、罹病者の少い今の内から注意して外出後は必ず含嗽を行ひ塵埃の多い日や場所にはあまり出席しない事です。

國勢調査の話

いよいよ十月一日午前零時に於ける一世帶内の人々を調べる事になりました、重要な八ツの事項を正直に申告するといふ事を忘れてはなりません。

第一、姓名　第二、世帶に於ける地位　第三、男か女か　第四、生れた年月日　第五、配偶の關係　第六、職業及職業上の地位　第七、出生地　第八、國籍

交換手學校

處女會中央理事嘉悅孝子女史の御骨折で交換手が毎日勤めながら學德をみがく事が出來るやうになりました。交換手學校を開設してから交換手志望者も増加したと聞きましたほんとに嬉しい事に思ひます。

記念切手發賣

明治神宮の造營工事は十月中全部完成して十一月一日にこれが地鎭祭を行ひ三日には第一回例祭を行はるゝ事になりましたが遞信省ではこの鎭座祭を永久に記念する爲に十一月一日から三日間記念切手一錢五厘と三錢の二種を發行して賣ることになりました、其切手の圖案は鎭座祭を描くとか聞きました。

兒童衛生展覽會

内務省では來る十月廿四日から十一月十五日迄本郷お茶水東京教育博物館で兒童衛生展覽會を開き誰にでも無料で觀る事が出來ますさうです。

◎姙娠と分娩◎營養◎元服と住居◎兒童用品◎疾病と治療◎養護◎小學校幼稚園保育所の衛生等に關するものを陳列しますさうです。

初秋の衛生

八九十の三ケ月は腸窒扶斯、赤痢、疫痢、等の流行病の最も盛んな時です、虎列刺も大阪を始め關西方面に可成烈しく流行して居ると聞きました。下痢、寒氣發熱等の兆がありましたらよほど注意をしないと後で取りかへしのつかぬ事になります。何でもすぐ醫師の診察を受けるに限ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

地方通信

回長崎縣西彼杵郡三重村處女會

大正九年四月創立
現在會員三七〇人
十二歳以上二十歳迄の未婚婦女を以て組織す
役員氏名
　會長　島田謹一
　副會長　濱田喜代太
　同　横山この
　主幹　安中はや
　會計　林すが
小學校女先生を名譽會員として其指導を受く
支部長　十二名　副支部長　十二名　評議員　二十四名
幹事　十二名

重なる事業（現に實行しつゝある）

補習教育　會員全部村立實業補習學校に入學し縣訓令に從ひ毎月十四時間以上普通科目實業科目を修學す、出席奬勵其他萬般の世話は處女會の役員是に當る。

通俗教育　毎月一回以上支部總會を開き講演會開催、又文庫を設け圖書の閲讀をなす、處女之友の共同購入九十五册

總會　毎年一回以上總會集會開催し、會務報告諸協議、名士の講演、其他運動、餘興等を行ふ

風紀維持　總會の決議により男女の交際に制限を設け處女節操の嚴守を期せり又祭日休日の利用法を講せり。

規約　會員結婚の際は五十錢以上を本會基本金に寄附する事、本會よりは記念品を結婚者に贈呈する事、

貞婦なつ子の事蹟

三重縣多氣郡大杉谷村久豆
鈴木志津

數て見ろと今から二年前、私が滋賀縣の大津に居た頃、坂本といふ紅葉の名所におなつさんと云ふ方が居ました。年は十八歳で夫は戰爭に出て居て生みの父も母もありました。夫は斥候の役目で敵の樣子を探ぐりに行つて額を鐵砲で打貫かれましたけれど向つて行つて死んだのですからお上からは褒美が下り書付けがまゐりました夫の亡くなつた日に月滿ちてゐた胎内の子が生れました子供は男の子でしたからおなつさんは此處で固い決心をしました。親は他へ再緣をせよと進めましたけれどとう〱聞入れず「私は一生寡婦で暮しますそうして此の子を樂しみに育てます」と云つてまだ十八の年の若いのにふさ〱した濃い綠の黑髪をぶつつりと斷つてしまわれましたそれから間もなく聯隊から褒美の金子を取りに來るやうにて申してきましたのでおなつさんは聯隊へ受取りにまゐりましたすると隊長はおなつさんの年若なのに髪が斷つてありますから驚いて年を聞き仔細をきゝましてと其處に居合はせた將校達は操正しいその行ひに感心し皆涙を流して感泣したといつて居ました實に思上つた行ひですそれからはお母さんと共の子供とおなつさんと三人ぐらしで樂しく毎日たくさんの田畠を作り働いて居られます。

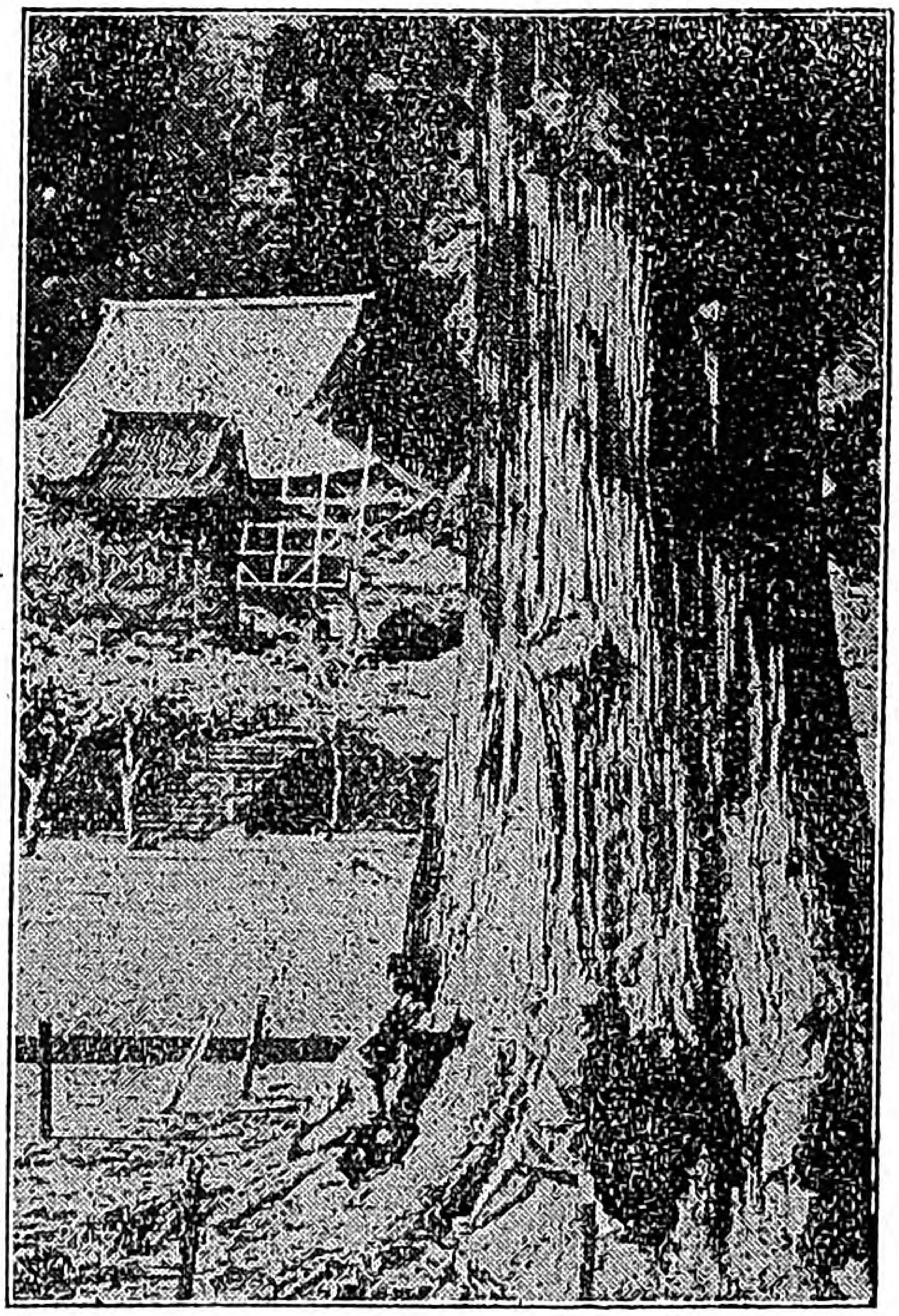
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一身を捧げて

金山良人

前略

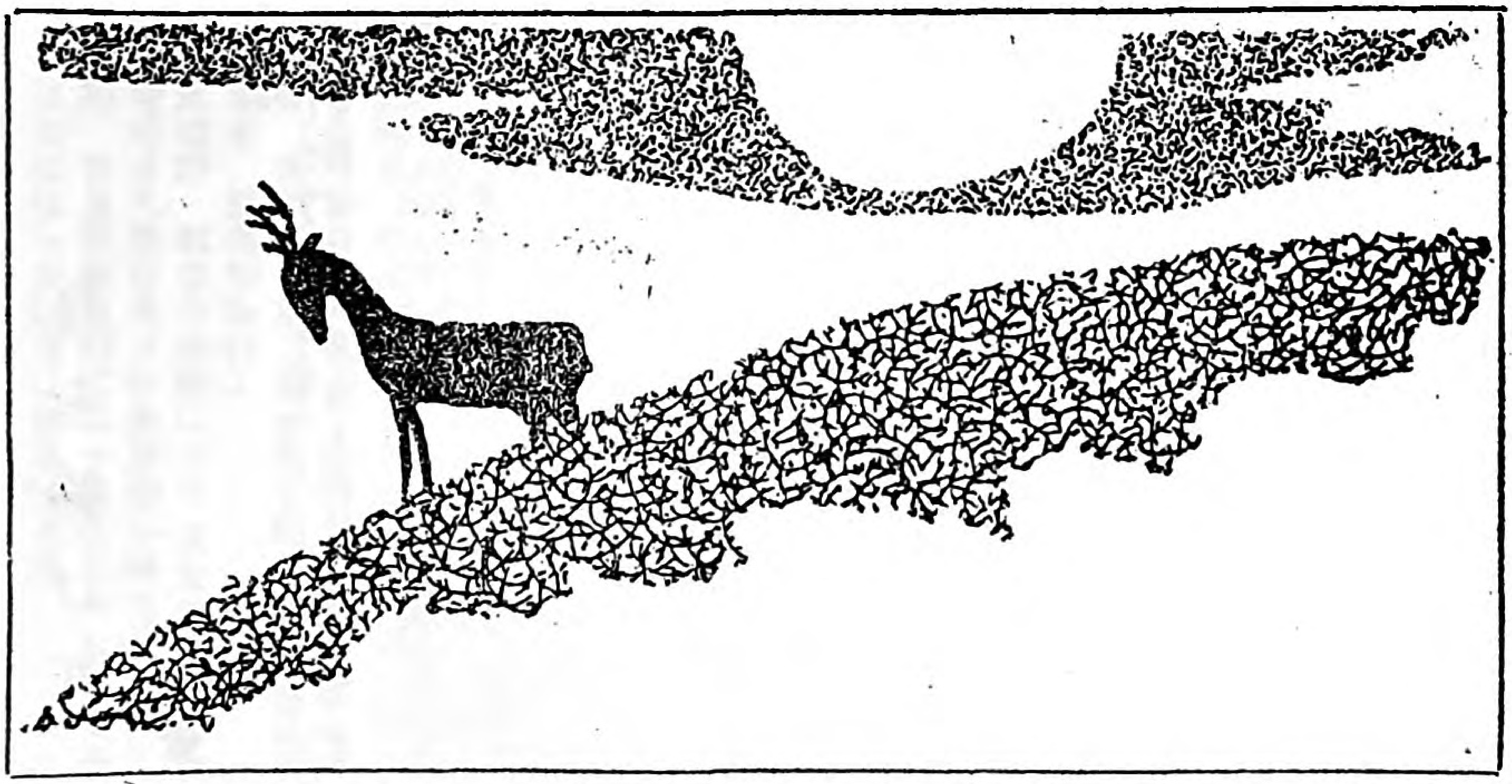
吾々良村青年男女を思はれて一意專心御敎導下さる有難さに感激の涙にむせんでゐます。そして處女會と青年會と相提携せなければならんと思つて土地の優良青年に語つて見ると皆大賛成をして下さいまして今春五月廿五日を以て發會したので御座いました。案外にも好成績にて四十六名の會員中六名の欠席者を出した許りでした、然るにどうした譯か青年會の方ではあまり振ひません。然し何も恐るゝ所はありませんから大いにやります。今や青年會處女會の風紀取締りの大役を受け處女の向上のためにも盡さんため少しも心は許されません當處女會にては回覽雜誌は何も確と定めては居りませんが處女の友を寄附する事に致しました。けれども未だ處女の友の愛讀者は少しもないので御座います、これ皆私の努力の足らざる所何卒御許し下さい私の方の處女會は隣村の處女會員より大いに輕蔑されて居ります然し私を始め處女會員中覺醒せる婦人は今に見ろと言ふ心を以て笑はるゝ程奮闘して居りますこれ等の人々の一生懸命になつて居る有様を見ては私は涙が流れます。そして共に手を取り合つて今十年の後には立派なものにしませうそれまでは自己一身を捧げて努力しませうと誓つて居ます。



中央部の諸先生何卒二三年待つて下さいさうすれば立派とは言はれずとも處女會らしい處女會ともなるでありませう。私は只今（大正九年九月）十九ケ年と四ケ月ですから來年は徵兵檢査です、身長は五尺五寸餘體量十六貫を算し强健ですから兵隊として國家に捧げればなりますまい。合格致しますれば二ケ年間は村の爲に働く事が出來ません、然し私の後を引受けてやつて呉れる人がありますから吾が處女會も近き將來に於て發展する事と思つてそればかりが樂しみです。

× × × ×

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



月の夜光ちゃんに

松崎ひろの

軒より軒に入る都の月も、秋は殊更冴えて、青い光が趣深く見られます。

光ちゃん！　ほんとうに美しい月の夜てす、あなたはこの月を眺めながら、何をしてゐますか。

山に圍まれた高台の崖の上の椽に出て、伯母樣と二人で、山の上にまんまるく靜かに照つてゐる月を見つめつゝ榮華な昔の思出を伯母樣から聞いてゐますか、それともつゞれさせと夜の靜けさを破る虫の音を聞きながら、伯母樣とランプの光でせつせと冬着の支度に針を運んでゐますか。

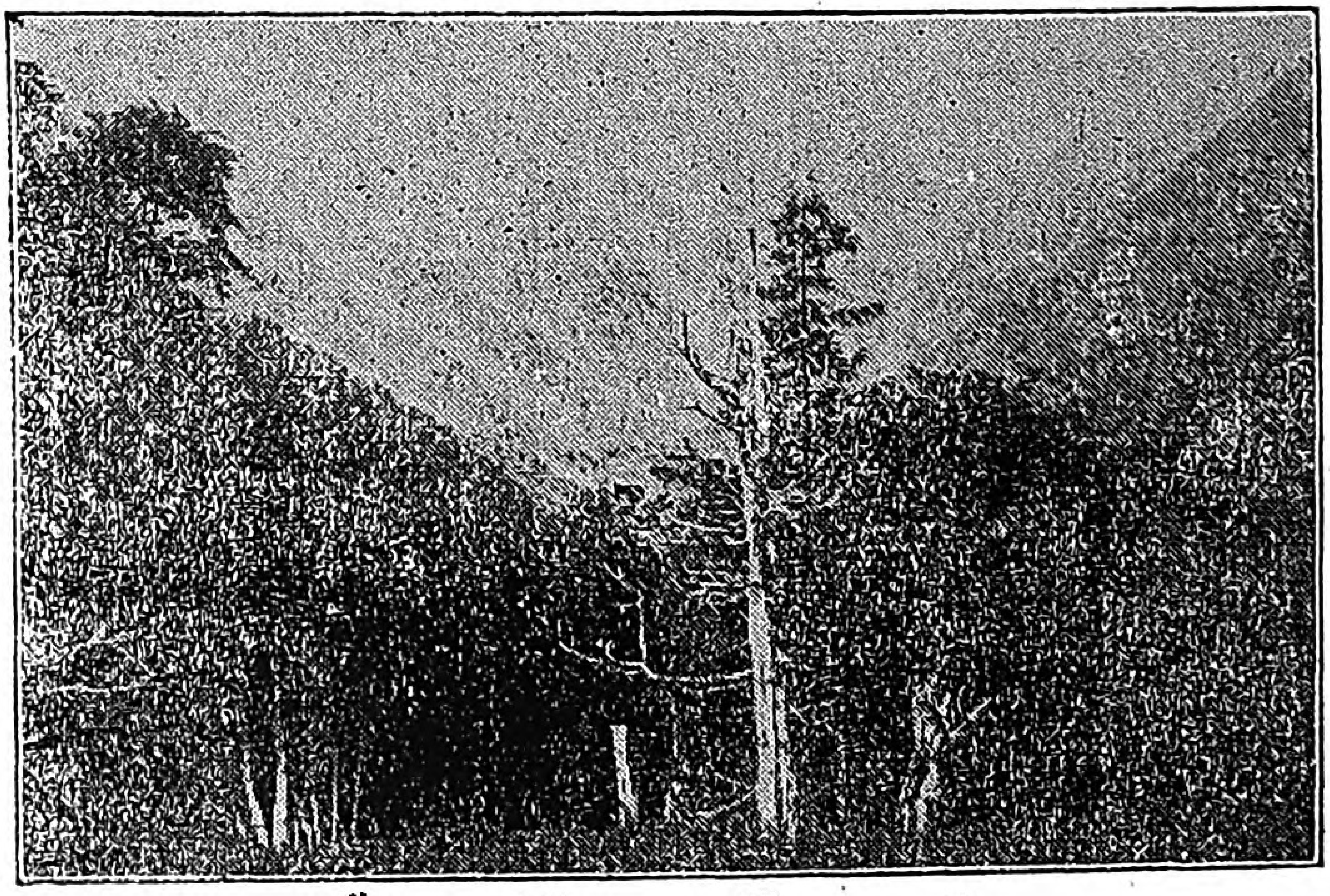
光ちゃん！　淋しいでせうねえ、隣と云へば坂を下つて一町も行かねばならぬ崖の上、鎭守樣の森かげの廣い家に伯母樣と唯二人での山里の暮らしは、どんなにかさびしいでせう。

光ちゃん、あなたも今年は十六！花ならば蕾といふ最も希望に充ちた樂しい時ですもの、それを世間の娘のやうに、母に甘へる事も知らず、美しく裝ふ事を考へる事もなく田舍の舊家の一粒種として、父もなく母もなき孤獨の身を伯母樣一人にすがつて、淋しく暮らす貴女としては隨分頼り少い悲しいと思ふ事もありませう。

去年の夏私は十年振りで歸郷した時あなたはニコ〳〵と嬉しさうに、珍らしさうに私を迎へて下さいましたねえ、その時のあなたの面影が

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

今も尚ありく\と私の眼に浮んで來ます。十年の間に平和な片田舎も隨分變つてゐました。お下げ髪に赤いリボンをかけて兵兒帶をしめて故郷を後にした私が、束髪に結んで丸帶をしめて歸つたと同じやうに、誰も彼もが變つて夢に現に慕ふた故郷は全くひとむかし時代が變つてゐました。一里離れた町並には電燈が輝き軌道車が走つてゐました。赤ン坊をかゝへてくる丸髷の若い母を誰かと見れば私のまゝごと遊びの幼な友達――袴をはいた高等小學校の生徒の中に「あんよはお上手」と手を引いてやつた省三さんも居ました、「まあ光ちやんですの」と伯母様に聞いて口を開いたまゝ貴女の顔をみつめた私の顔がどんなに可笑しかつたでせう。お母様のお乳を握りしめて離さなかつたのを一生懸命に離してはからかつた幼い光ちやんをばかり考へて居た私は、髪を無雑作に束ねて巾のせまい帶を可愛らしくころくと結んだ、娘らしい光ちやんを見て、驚かないでは居られませんでした。



高原の秋

「それと同時にあなたのお家の淋しさ靜かさにも驚かされました。三夫婦揃ふた賑やかな家であつたあなたの家に、次から次に死といふ魔の手が襲ふて、あなたの好なお祖父様、お祖母様を始め伯父様、お父様それからあなたの大事な弟まで奪つて行きまして、唯年老つた伯母様一人をあなたの前途程遠い人生の道づれとして殘して、古い大きな家には猫の子も居なくなりました。

貴女の案内で先祖の墓に詣り、十年の間に運命の神の惡戯によつて造られた、五ツの新らしい墓に水を手向け乍ら、何とも言ひやうのない淋しさに、暫く立ちすくんだまゝあなたの姿を眺めました。

とりわけあなたのお父様のお墓の前に立つた時、滿洲守備隊勤務中の勇ましい姿が眼の前にちらついて「おゝよく來たれ」とにつこり笑つて私を迎へて下さるやうに思はれてなりませんでした。

あの骨組のしつかりした、色の黒い元氣な貴女のお父様の、サーベルをさげた勇ましい軍服

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

姿ばかりを思ふ私は、あの丈夫さで三十になつたばかりでなくなられやうとは想像も出來ませんもの。撃劍できたへられた骨張つた腕に、赤い着物で包まれたあなたを抱へて「オギアオギア」と泣くのを「サムヨシ〳〵」とすかし乍ら「どうして我子はこんなに可愛いものかなあ、親も僕をこんなに可愛いがつたのかなあ」

としみ〳〵云つて居られたあなたのお父樣の樣子が、幼なかつた私の頭にも殘つて居ます。

「光ちやんお父樣の顏を覺えて居るの」と私が聞きましたら「よくは知らないの」と答へましたね、ほんとにあなたは小學校にも入學しない前にお父樣に死に別れましたものねえ、そして若くて美しかつたあなたのお母樣は暫くして再婚なさいました。父に死別れ母に生き別れ、全く孤獨の身を他人の伯母樣に育てられて今迄大きくなりました。

夫に死なれ、子も持たず、あなたの伯母樣も賴り少いお方です。可愛いとあなたを慈しむ伯母樣と、慕はしいとするあながたとの、心と心が桔びついて暖かい空氣が淋しい家に充ちて居ると思ひました。

「光子が私ばかりを賴りにして伯母樣が行く處へはどんな處へでも行く、伯母樣が死なれたら私もいつしよに死ぬと申します」

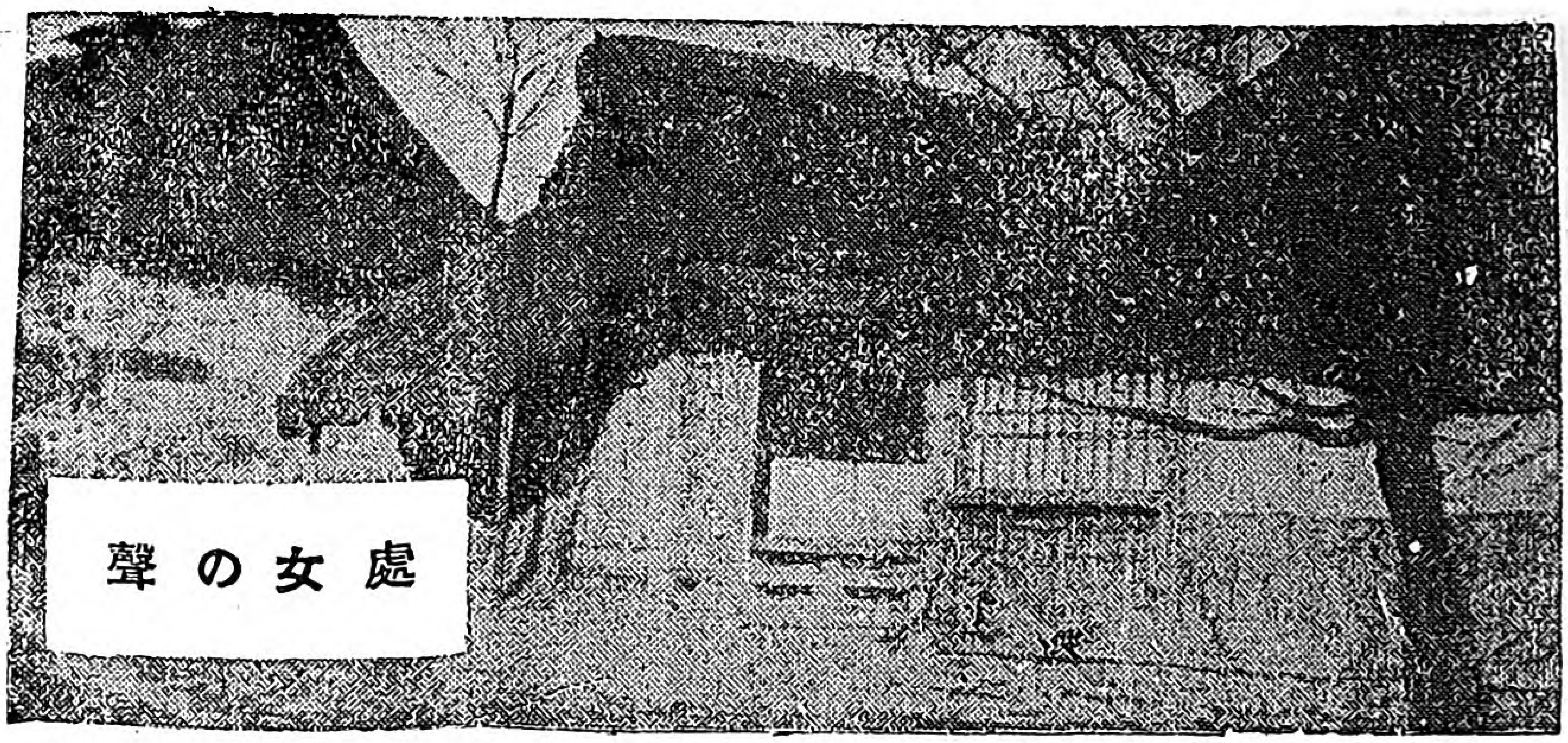
と涙ぐんで話された伯母樣のお話を聞いて私までもらひ泣きをしました。まあ何といふいぢらしい心でせうお互ひに賴りない淋しさから、眞實助けあふお二人の心が嬉しくて私は我を忘れてお二人の行末永い御幸福を心からいのりました。貴女が深い車井戸の綱を手ぐつて汲んで下すつた氷のやうに冷い水で肌を拭ひ乍ら「光ちやん東京に行き度いと思つて」と聞きますと「えゝでも伯母樣と別れるならいや」と云ひましたれ。

光ちやんほんとに伯母樣はあなたにとつて天にも地にも二人とない大事な人です。あなたは伯母樣に賴つて唯一人殘された本家の後繼とならなければなりませんよ。

光ちやんあなたは決して淋しいと泣いて下さるな。谷川の水で洗はれた羽二重のやうに白いあなたの肌は木綿の單衣の間から美しい光りを放つて居ました、黑水晶のやうな美しいあなたの瞳は何千圓のダイヤの光よりも貴いと思はるゝ迄輝いて居ました。それよりもなほ貴いものは貴女の無邪氣な純な心の輝きであります、どうぞ清い心を永久に持ち續けて△△村の女王として美しい一生を過して下さい。

それが天の神樣からのたへられた貴女の運命であります。そして天からあたへられた運命に從ひ、自分で滿足をすることが、人として一番幸福なことです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



皆さんからのお便り

みち子

一　看護婦となつて

看護婦となつてからの辛い苦しい朝夕は過ぎまして近頃は大分病院の生活にも慣れました。初めの中は全で變つた病院生活で何や彼と隨分苦しう御座いましたが是が初めて社會に働く辛さであらうと存じまして我慢を致しました。い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、同じ年頃の人の共同生活には種々世渡りのむづかしい事が多く涙に暮す日が幾い、い、い、い、い、日か續きました。けれども唯將來の希望を目的に生存競爭の烈しい社會と戰つて居ります苦あれば樂あると申す事を身にしめて至誠一貫の精神を以て力のつゞく限り研究に勉めて居ます。只もう一心に勉強して一日も早く成功し度いと願ふ心が充滿でございます。それには如何しても教育といふ事が最も大切だとつくゞ感じまして讀書を怠らず修養につとめ度いと思つて居ます。

◉記者より

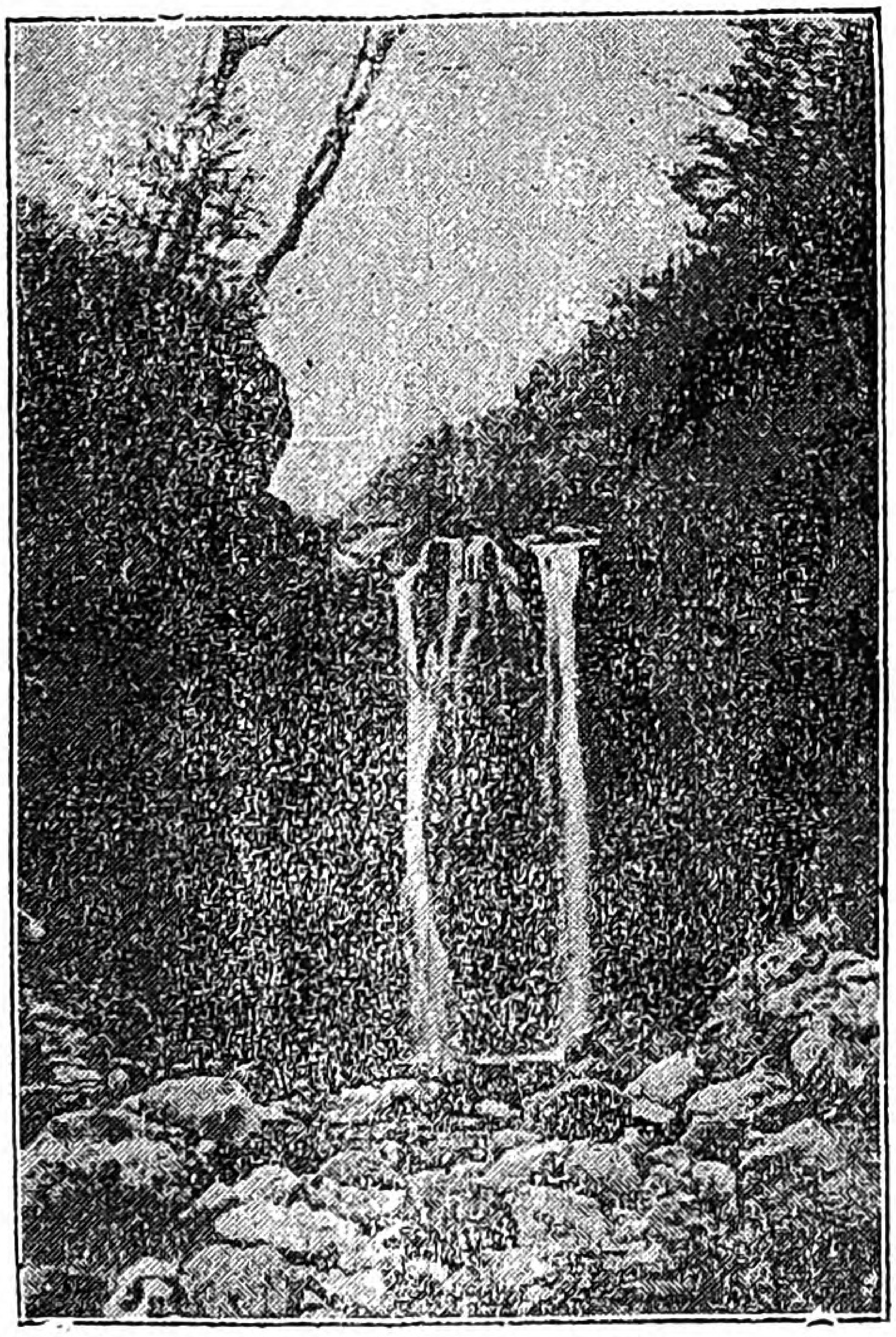
御手紙を拜見しまして、貴女の努力の跡がありゞと見ゆる思ひがして嬉しくてなりません。或人が「人生は戰爭なり」と申しました全く生れては死に生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

れては死ぬ五十の春秋――貴きも賤しき人さまぐ〵の苦しみを與へられ私共の行手には大きな山や河が幾つとなく邪魔をして居ます。その邪魔者を切りぬけて最後の成功の山に達する人が眞實の立派な人でその立派な人には誰でも努力一つでなれる事を考へなければなりません。

磨きなば誰か光の見えざらん
こゝろの玉は石ならめやは

私共は河原にゴロ〳〵轉がつて居る小石の群であります。その小石の群の底深くかくれて磨かば光る玉となるものも一つや二つありませう。磨かば光る玉となる事を心がくるのは私共の一番大切の事であります。記者は貴女の努力が永久に捲まず撓まず、最後の成功の山に達せらるゝやうにいのります。



秋色

二　父母に死なれて

艶子

先生私は悲しき境遇に暮し乍ら自由の天地に清き田園生活をつゞけて毎號處女の友の誌上の御訓戒を嬉しく存じまして唯一の慰籍として居ます。

聞くも恐ろしい流行性感冒は私の家にとつて大切な父を奪ひまして母を便りに父なき仲にも割合に不自由のない田舎の暮しをして居ましたが頼りにした母までも一昨年流感のため力にする私も世間の何たるかを知らぬ幼い妹も兄も殘して彼の世に旅立ちました。取りつく島のない捨小舟の様に漸く二十才の兄を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

頭に三人は廣い浮世の波にさまよふ身となりました。然し二十才にしては大人びた兄と近所の人の力に依て父祖傳來の田畑を守つて三人仲よく今では暖き一家を支へて居ります。今では一家を纏める主婦の役です、そして妹の母です、赤い帶も入りません綺麗な下駄も入りません、只一人の妹が幸福にそして一人の兄が世間の地位を得らるれば此上の望みはありません、そして私は父母とも慕ふ先生のお訓を聞いて立派な主婦となる事が出來れば滿足であります。

先生どうぞ喜んで下さい一人の兄は今年二十二才十月一日行はれる國勢調査員を命ぜられ自治になつた第一回の長谷村青年團長に擧げられて天野先生著青年團及處女會の御本を熟讀してゐますどうぞ先生のお情け深き胸に艶子の名をお記憶下さいましてお憐れみ下さいませ。

◉記者より

ほろ〳〵となく山鳥の聲きけば
父かとぞ思ふ母かとぞ思ふ

世の中に親を戀慕ふ子の心程哀れに悲しいものはありますまい、父母の恩愛は人情の極致で到底形式では表はせないもので他の人が如何に深く愛すると申したとて父母の愛には及びません、父母は子の爲には生命を捨てゝまでもとの深い愛をもつて其子を育てゝ下さいます。

お父樣
お母樣

まあ何といふ懐しい暖い言葉でせう。それに貴女方お三人の兄妹は永久にお父樣ともお母樣とも呼ぶ事が出來ないと承つて私は貴女方と同じ心になつて泣かずには居られません。そして今の若い人には珍らしい眞面目なお兄樣の努力と、貴女の健氣なお心に深く感じました、どうか行末永く今の心を忘れずに三人のお兄妹が睦まじく、暖い家庭の人として幸福にお過しなさいませ。

* * * *

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

三　裁縫を習ひ度いと思ひます

香川の一處女

私は讃岐のそれもずつと西の一農村に住むもので御座います。小學校卒業後は家にゐてなにくれと働いてをります。私は小學校に通ふ頃から裁縫が好きてどうしても裁縫を専心習ひ度いと思つて居ました、けれど昔がたい父はそれをゆるしてくださいません、幾度頼んでも許して頂く事は出來ませんでしたそれに私はます〳〵熱心になつて裁縫を習ひ度いと思ひつゞけました。決して農業が嫌なわけてもございませんが自宅に居て裁縫の勉强の出來る方法はありますまいか、農閑期にはお針にも通ひますがほんとうに僅かの間ですのて十分な事が覺えられません、此頃裁縫講習錄とか云ふ雑誌が出てゐるさうてすが有益な本でせうかどうぞお敎へ下さい。

◉記者より

御手紙を拜見しましてあなたの熱心に勉强し度いといふお心がけに感心しました、裁縫は日本の女子として最も大切な事て、裁縫を充分に稽古してない婦人は將來家庭の主婦としてどんなに不自由をするかわかりません。結婚をして姑の前に出た時、小供が出來た後になつて裁縫の稽古が充分に出來てゐなかつたと悔んても泣いても追ひつきません。裁縫の稽古はどうしても一刻千金の處女時代に一生懸命に勉强しないと年を老つてから女として最悲しい事に出あひます農家てお忙がしためにお父様が反對なさるてせうけれども貴女は今一番大切な時季てすから、夜でも熱心に裁縫の練習をなさるやうにすゝめます。講習錄も誠に結構な本てすが裁縫は一枚より二枚と數多く縫ふ間に急所を覺えて上手になるものですから熱心に數多くお縫ひなさる事をすゝめます。神田順子先生著裁縫新敎授書（定價一圓五十錢郵税十二錢）等は叮嚀に裁方縫方順序等が書いてありますから御參考にならうと思ひます。

＊　＊　＊　＊

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

四　樂しき會合

愛媛縣喜多郡河邊村坂本村　平井フサヨ

去る七月二十三日より二十八日迄第六回裁縫講習會を開きました。修身、(總理岩井先生)、マッサージ(顧問東先生)裁縫家事(東久子先生)のお受持て毎日々々熱心にお稽古をしました。出席者は病欠一名を除く外全部の會員と會員外の方もたくさん來て裁縫室がせまくなつて廊下にまで並びました。嬉しかつた事樂しかつた事とても拙い筆で表はす事は出來ません。もう生徒になつた氣で休憩時間などは痛い程照りつける暑さをものともせず、眞黑になつてテニスをして居る方もあり、涼しい木蔭に台を運んで、ピンポンに夢中の方もあり、又一方には昔話に花をさかせて居る方もあり非常に愉快でした。着物も細目通りでしたが多い方は四枚も五枚も縫はれました、一番家人に喜ばれたのはマッサージて歸るとすぐ實習して喜ばれました最終日の午後の總會も大變盛大で諸先生や來賓の方からいろ〳〵有益なお話をして頂きまして會員の談話も隨分はづみました。尚私等の裁縫の出來上り品を大層賞めて頂きました時は、ほんとに嬉しう御座いました

〰〰〰〰〰〰〰〰

小山工場遊園地の夜

靜岡縣　齋藤ゑつ子

「淺宵をひとりこもれば親思ふ、心切なる涙流るる、」どこからともなく虫の聲が聞ゑる、折柄月は青い光を下界になげて居る、清き鮎澤の川の流を耳にしての雨の晴れた夜の景色は實によいやたらに庭にとび出して見たい樣な心地、いゝゑもう下りて居るのだ。芝生には銀の玉のやうな露が愛らしう宿つて居る、ポプラの木の間から月は、やはらかなる光をこの希望に滿ち滿ちた吾が胸にあびせかける、吾は今この月下に何を考へて居るのだらふ、遠い遠い夢の國に居ますなつかしい父、戀しい母であらればならぬ。今の吾が身には終日此の父母を偲ばぬ譯に行かぬ朝日が東の雲間からもゑ出づる時、月の光が濃みどりの木立から池の中にさす時はなつかしい戀しい父母が思ひ出されるのだはるかな山に霧の立ちこもつた、夜半、庭をさまよふ時にも庭の小川のせゝらぎにも……

〰〰〰〰〰〰〰〰

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

前號の口繪説明

古びた日傘を手に

福島縣東白川郡石井村處女會員報

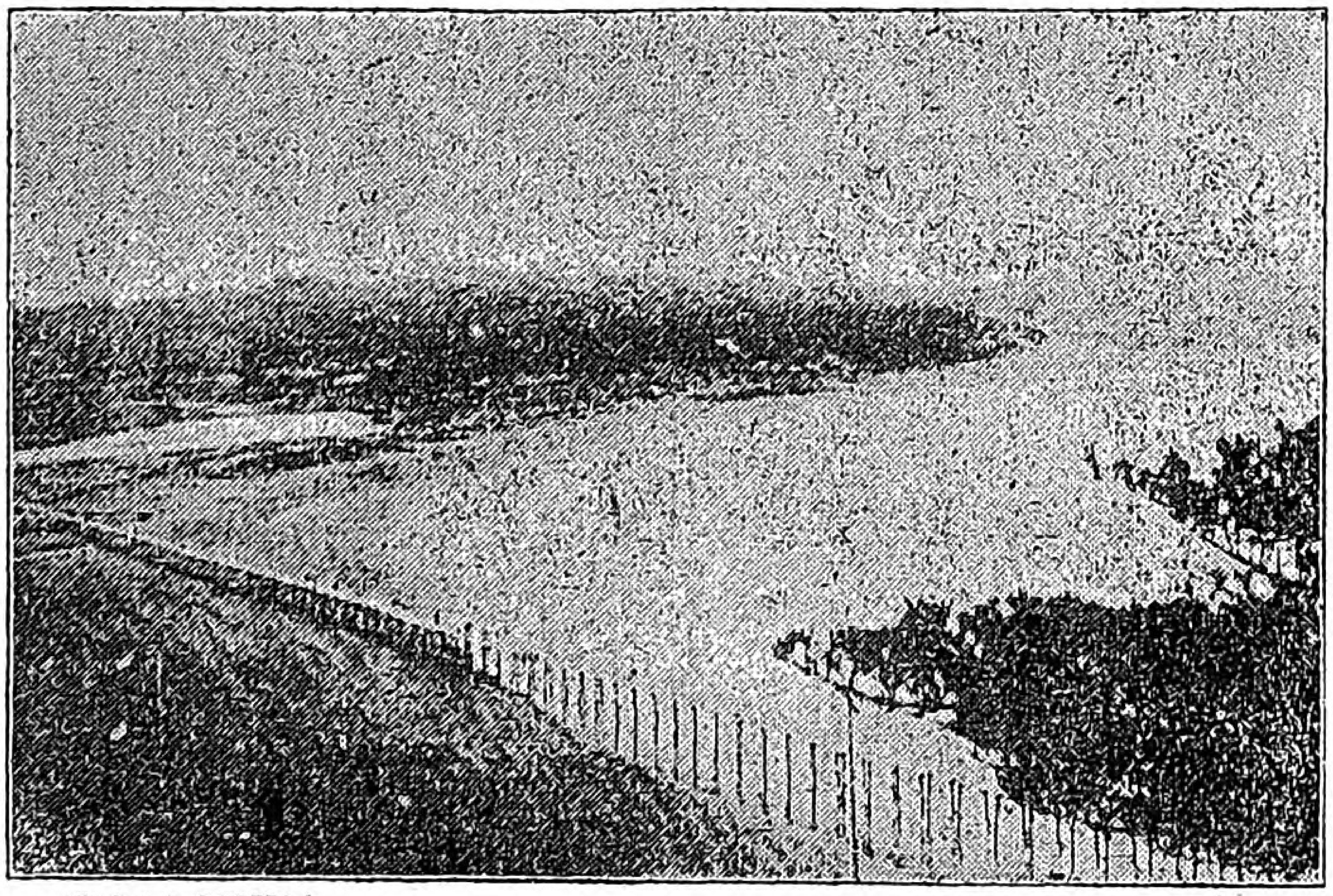
私達は眞面目な田園の處女として田に畑に鍬鎌を手にしてせつせと終日働いてゐます可弱い腕にも力を籠めて野を守る私達處女會員の奮鬪振りを御想像下さいまし。私達だつて、高い望みも憧れもあり胸には若き血潮が紅に燃えて居ます、それを凝へ抑へて黒い土に親しんで强く優しく眞面目に働く私達を想像して下さいまし。私達は去る五月十六日に、處女會第一回の遠足運動を催しました。卷頭の寫眞は其折撮影しましたもので中央の方が戸井田會長で御座います。

まあ、よく御覽遊ばせ、純な田舍處女の表情を――姿を――手荒な綿布に甘んじ、古びた日傘を手に、而も誇らしい滿足げな姿を

○婦女會主催の敬老の會

□和歌山縣伊都郡大谷村婦女會□

我が大谷村に於ては、大正八年六月二十六日七〇歳以上の老人を招待して敬老會を開きました。會員は毎晩のやうに老人達を喜ばす爲に餘興の稽古をなし、福引などをもつくりました。一番骨の折れるのは食事のことでした。



（群馬 對比地こう子寄）

午前十一時開會し、履物や杖や洋傘などには一々名札をつけて定めの席へ案内しました。

「たゞ勿體ない、こんな立派なお座敷へ通していたゞいて昔ならば、このお庭さへ拜見することが出來なかつたのに」

と涙を流して喜ばれた老人もありました。會場は村役場のお座敷を借りました、此處は昔は郡中屈指の富豪の跡でした。

やがて少しばかり、お酒が出る、お菓子が出る、九十歳を最高に七十までの老人が五十七人大喜びでございました。お饅頭は敬老饅頭が三ツ、自分は食べずに、孫を喜ばせようとお土産にせられる人も多うございました。寫眞をとる時には、

そんなものは昔からうつしたことはないと言はれる方もありました。

校長や來賓のお話のあとで餘興の福引となりましたが、中に無邪氣な兒女の唱歌もありました。みなさん大喜びでございました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

難易（むつかしさ、やさしさ）
比較的（わりあひに）
飛翔（とびまわる）
會得（のみこむ）
努力（つとめる）

明治天皇御製

前になり後になりて雛守る
田鶴の心のあはれなるかな

鳥の親の心盡し

鳥類の卵から出る雛は、種類の異なるに隨つて、それ〴〵發育の程度が違ふのである。又之を養ひ、之を教へる親の骨折にも、種々難易の相違がある。

概していへば、雉子、雞などのやうな、平生餘り飛ばぬ鳥は比較的大きな卵を産み、それから出る雛は、直ちに走り得る位までに發育して居るが、燕や、鳩のやうに巧に飛ぶ鳥は、小さな卵を産み、それから出る雛は頗る少さくて弱いそれであるから、これらは、特に親に保護せられ養はれねば、一日も生きては居られぬのである。

また、雛が、稍々生長してからも、地上に走る鳥ならば、親は、その呼聲を覺えしめ、小さな物を地上から、速に啄むことを練習せしめなどすれば、それで宜しいが、常に飛ぶ鳥では、飛翔の術を練習せしめねばならぬ。なほ飛びながら餌を取る法や、敵から逃れる法をも、會得せしめねばならぬ。これには中々容易ならぬ努力を要するのである。

卵から孵つたばかりの鷄の雛は、食物が地上に落ちてあつても、之を啄むことを知らずに居ることがある。然るに、若し鉛筆かペン軸で、地面を敲いて音をたてると、直ちに啄み始める。雛には生れながらこの性質が備はつてある爲に、親鳥が地面を敲くと、雛はその音を聞いて、直ちに物を啄む練習

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

識別の力（みわけるカ）
迅速（すみやか）
精確（たしかに）
興味（おもしろみ）
距離（へだたり）
獨立の生活（ひとりだちのくらし）
親の補助（おやのたすけ）

を始めるのである。そして初の間は、砂粒でも何でも啄んで口に入れ、食へぬ物は之を吐出すが、後には、段々識別の力が進んで、食へる物だけを選んで啄む樣になる。牝雞が雛を集めて、米粒などを態々高くから地面に落してその跳散るのを、拾はせて居る所を屢々見るが、これは迅速に、且精確に、小さな物を啄むことを練習させて居るのであつて、雛に取つては、有益な教育である。

鳥類の多數は、空中を飛翔するものであるが、飛翔は、總ての運動中、最も困難なものである。で巧妙になるまでには、大いに練習を要する。巣の內で育てられた雛が、稍々大きくなると、之に飛ぶことを練習させるが、最初は雛が危がつて、容易に巣から離れやうとはせぬ。之を巣から出して飛ばせるためには、或種類では、親鳥が雛の最も好む餌をくはへて、先づ巣から出て、恰も、人間が歩き始めの幼兒に、「甘酒進上」といつて歩行の練習を獎勵する如くに、雛を誘ひ出す、興味を以て導かうとする。また他の種類では、親鳥が雛を巣から無理に押出して、止むを得ず翼を用ひさせる。無論始めは極めて短距離の所を飛ばせ、次第に距離を增して、終に自由自在に飛べるやうになれば、全く親の手から離すのである。南アメリカのコンドン鷲のやうな大鳥になると、雛が飛翔の練習を卒業して、獨立の生活に移るまでには、約三年を要するといふ。

餌を巧に捕へるにも、餘程の練習を要する。雀などでも、雛が飛びうるやうになつた後も、尙暫くは親が常につれ歩いて、餌を食はせて居るが、この間に、雛は親に見習うて、次第に自分で、餌を拾ひ得るやうになり、最早親の補助

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

見學（けんがく）（見て學ぶ）
熟達（じゆくたつ）（なれる）
監督（かんとく）（とりしまる）
野生（やせい）（のそだち）

がなうても、十分に生活が出來るやうになると、親と離れてしまふ。鷲、鷹のやうな、稍々大きな生きた餌を捕へて食ふ猛禽類では、教育が、更に順序正しく行はれる。先づ始は兩親が、雛を獵に連れて行くが、ただ見學させるだけで、「實際餌を捕へる仕事には加はらしめぬ。次には親が餌を傷け弱らせて置いて、雛にこれを捕へ殺させ、次には親と雛と協力して獵をし、雛の腕前が稍々熟達して來ると、終には雛のみで餌を捕へさせ、親はただ之を監督し、萬一餌が逃去りさうな場合に、之を防ぐだけを務める。卽ち「易より入つて難に進む」。といふ教へ方を巧に實行する。

水鳥が、雛に游泳の練習をさせたり、魚を捕へる練習をさせたりする方法も、以上と略々同樣である。初はただ簡單な游泳の練習のみをさせ、餌は親が直接に食はせてやり、次には親が啄んで少しく弱らせた魚を、雛より一尺位の所に放して、之を捕へさせ、これが出來れば次には二尺位の所、次には三尺位の所といふやうに、順々に距離を增して、速に泳ぐこと、巧に捕へることを、兼ねて練習せしめる。斯うして雛の技術が進むと、親は少しく助けながら勢のよい魚を捕へしめる。家鴨だけは、長らく人に飼はれた結果として、體は肥り翼は短くなり、卵は大きくこれから出た雛は、直ちに水面を泳ぎ得るほど發育して居るので、教育らしいことをせぬが、是は例外であつて野生の水鳥は大抵皆雛を教へる。雛が未だ泳げぬ間は、之を脚の間に挾んで保護するのもあり、人間が子を負ふやうに、自分の脊に載せて泳ぐ種類などもある。何れにしても、親が手放す前には、必ず獨力で生活の出來る程度までに、泳ぐことと、魚を捕へることとの練習を進めて居るのである。（丘淺次郎）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女文壇

（賞）

都の義弟

松江　米田つる子

幸ちやん、又秋が訪れて來ました、私は今日も樂しく一日の務を終へて、今あの物あはれな秋虫の聲をきゝ乍らふけ行く窓に筆とりました

幸ちやんがまだうら若い身で、あの染色の事業を全うする爲になつかしい父母のもとを去つて東都に行かれ其のお心を此の姉はどんなに尊く又嬉しく思つたでせう。まして染物弟子仲間の範たるべき貴方の父母の喜びは一通りではありません。あなたによつて元の如く再興させなさる時をまつてゐます。

今私はあまり淋しさに一人宍道湖畔に立つてあの神秘なお月樣をながめ又淋しい虫の音をきいてゐますと何かしら悲しくなつていつ知らず泪がにじみます。そしてあの幸ちやんの大好な春月さんの詩「夕となれば何をか思ふ」をくりかへし口ずさみました。あなたも御主人大事に一心に仕事をはげみそして故鄕に錦を飾つておかへりの日を待つてゐます

（評）眞心こもる姉の勵ましに弟さんも嬉しいでせう

（賞外）

過ぎし思出

三重縣　鈴木　志津

あやめ、あゝ何んて懷しみのある花でせう、思出深い花でせう。數へて見れば丁度三月前でしたわね。其日は懷しい父母います里に歸る、前の夕でしたわね。二人は互に手を取り乍ら、あの廣い〳〵。田の畔路を、心行く迄散歩致しましたでせう。そうしてふと、左側の土手に、咲殘つた、あやめを見つけて、一本づゝ、手折りましたわね。私は紫の方を、貴女は白色を、其時二人は、前よりも、一層固い〳〵、約束を、誓ひましたわね。貴女は年上だから、白色が丁度よくつてよ。それで……私は年下だから紫が似合つてよ、それで、二人は姉妹のやうになりませう。こう云つて互に、につこりほゝ笑みつゝ、我が舍に歸りましたわね。きさへ樣どうぞ、永久に〳〵、仲よく、お交り下さいまし。そうして、あやめの花を、いつまでも記念として、思出して下さい。

（評）面白いかき方です。

工場の友へ

宮城縣　牟岐あい子

みち子樣　今日も御働きあそばして、御疲れで御座いませう、お休み日には御たづれしていろ〳〵お話もしおなぐさめもしたいと思ひながら、五月に一度おめにかゝつたきり大へんごぶさた致しましたのね、是非御すゝめ申したい事があつて筆をとりましたの。ふとしたことから私は宗敎に心の眼を開き其の後お寺にもキリスへ敎會にも參りしみ〳〵お說敎を聞いたのでございますそして大へん自分の修養にもなり又每日の生活にどんな苦しいことが起つても、これが神樣の私をあためしなさる時と思つて、よろこんでそのことにあたるやうになりましたので是非貴女樣にもおすゝめしたいと思ひます。

懸賞俳句

（賞）

畑打つや澁茶にぬるき古土瓶　京都府　杉本梅子

涼しさや長汀曲浦浪をどる　翠戀草

（賞外）

賤の女の草刈り籠に百合の花　愛媛　楢本澤代

今日ひと日鄙の乙女の盆踊り　廣島　添　琴代

夏祭並の暑さも忘れ果て　島根濱村ひでの

夕立やとゞかぬ沖の白帆かな　靜岡鈴木まさの

夏やせを苦にしてはかす腕わかな　靜岡　片平乙溝

ひぐらしの聲揃ふなり鄙の家　福島　阿邊延子

朝顏や綳帶の人水をやり　無名女

虫干しや亡き母の形見しのびけり　竹腰よさ枝

北國の我友如何に秋の月　群馬　石田さの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女歌壇

入賞　天　　府下　大久保國子

草むらの露にかゞやく月かげの
うつくしき夜を虫のなくなり

評　うつくしき眸をすゑて虫の音にしばし聞き入る乙女しのばる。

地　　長崎　長岡みつゑ

水車めぐらずなりし山里の
小屋のあたりに月のかゞやく

評　山がつは家に歸りし月の夜の里の靜けさ胸に浮びて

人　　愛媛　岩井きさゑ

古里の空なつかしき夕ぐれに
わきくる涙押へかねけり

評　空わたる雁の聲にもいかばかり故郷の空の戀しかるらむ

賞外

草刈りて歸る畔道行き暮れて里の流れに動く月影　福島　阿邊きく子

夕風に桐の一葉の亂れ來て月かげ消ゆる庭の池水　滋賀　中川とら子

さくさくと草かる鎌にしづくして野の幸歌ふ朝の靜けさ　福島　佐藤登枝子

殊更に友の病の思はれぬ淋しくそゝぐ雨の夕ぐれ　香川　大山　靜江

人はみな寢靜まりたる灯の下に心ゆくまで書をよむなり　群馬　橋本登久子

みだれ飛ぶ赤きトンボの數ふへて秋はいよいよふかくなり行く　島根　山根ふさの

西東明日はわかれん思ふどち今日の名殘りに語り明さむ　愛媛　橋本　澤代

こゝ旅の朝の目醒はさびしかりさびしきまゝにめしはみにたり　岐阜　吉田あをぢ

みやさしき友の便りがこと更に病みて淋しき身には嬉しき　竹腰よさ枝

靜かなる夕べの村をたゞ一人そゞろ歩めば心地よき哉　新潟　田村ツイ子

さまざまの憂ひの多き世をはなれこの山里に一人住むなり　三重　鈴木志津子

讀む文の上に思のこぼれけり病む身の憂堪えがたくて　府下　田村百合子

雨晴れし雲の間に輝ける星の光に友をしのびぬ　群馬　對比地こう

小さくも誠の道を行かむためつどふ處女の心うれしき　福岡　村上いし子

今日もまたよき日なるらし我がつぎし母の湯のみに茶柱の立つ　香川　岩井つや子

いつとなく腰かゞみゆく我が母の老いゆく姿戀しみて見る　長野　瀧澤やよ子

なりはひに高き卑しきなかりけり心のはげみ怠るなゆめ　岩手　佐藤　笑子

くまもなく晴れたる空に輝ける今宵の月の美はしき哉　長崎　野田千代子

亡き母のしづかに眠るおくつきの西のみ空を日毎仰ぎて　福島　二瓶ヨシヲ

冷たくも秋風通ふ夕ぐれに別れし友を懷しみけり　福島　小柴　房野

ほの暗き歸りを急ぐ山路をいつしか秋の月は照して　神奈川　山下惠美子

父母と呼べどこたへぬおくつきに泣き沈むなり兄と妹　香川　福田たか子

すなほなる祈の心ひたぶるに朝日にむかひ手を合せけり　富山　宇田　薫子

父君のかたもみなんと手をやれば骨の出しに涙こぼれて　神奈川　山下　桂子

我がすべて語る友なくいたづらにみ空したひて涙ぐみけり　松江　米田つる子

浦風の波打ちぎはにたゝずみて淋しき事を思ひつゞけり　岐阜　高木八重子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ

はがきをもつて御來會下さい長くては困ります

○思ふ事云はざれば腹ふくるゝと昔の人が申しました皆さんどしどし自分の意見を發表して下さい。質問には答へませう御不平の聲には御滿足のやうにいたしませう。腹の立つ事悲しい事嬉しい事をお互ひに知らせ合つてこそ始めて眞面目な處女の友の誌友です。（記者）

○晴渡つた秋の日私は鍬を肩に野に出て行きますが片手には必ず處女の友を持つて行きます、そして父が「やれ〳〵一服休だ」と云ふ時には青葉茂つた木の下で讀みますこうしてたのしい日を送つて居ります。（阿部きく子）

△よく働いて氣持ちよく讀書をするのはたふといと思ひます。（記者）

○私は會津の片田舍に住む一處女でございます、何の樂しみもなく淋しく暮して居りましたが、去年の十二月から處女の友を愛讀する樣になりましたので、暗から明るみへ出た樣な感じがいたします。毎月處女之友が待ち遠くてなりません皆樣どうぞ御交際を願ひます。（福島縣大沼郡沼澤村青柳やなぎ）

○皆樣方如何お暮しですか定めし御丈夫にお出遊ばす事と存じます、私は安達郡下川崎村の處女會幹事でした其時いろ〳〵教へられて居りましたから立派な着物などは欲しいと思ひません、人は着物より心立が大切だと思ひます。（福島縣安達郡松田村梅津みや子）

○私がお送りしました繪葉書は宍道湖の名所地であります、左方に見えますのは袖師ヶ浦の地藏樣であります。名所でありますのにこゝで時々身投げがありますので此程供養がありました。（島村ひでの）

○私の村から三里只見川を遡ると日本三虚空藏の一つの福滿虚空藏（十八頁參照）が柳津にございます、御堂の舞臺から下の道を通る人が小さく見えます、前の大きい石は龜石といつて元は上に松が一本生えてゐたのが洪水でなくなつて近年亦二つに倒れたので土地の人は不思議がつてゐます一度お遊びにいらつしやい御案内致しませう。（福島縣會津千咲村永島ちよの）

△ぜひ參り度いと思ひます（記者）

○私は四國の片田舍に住む農家の娘で御誌を無二の友として居る者です、記者先生どうかよろしく御教導下さい誌友の諸姉樣どうぞよろしく（香川縣三豐郡大野原大山須惠）

○毎月處女の友が來る度に私の胸は飛び立つばかり餘り喜ぶので皆に笑はれます、御熱心なる先生樣方のお蔭にて不束なる私も其日其日を感謝しつゝ送る事の出來る樣になりました、群馬の對比地こう子樣五月號にてみやさしきお言葉眞に有難う御ざいますどうかお便り下さいませ、追々涼しくなりましたから皆樣一層奮ひませう。（和歌山縣伊都郡隅田村石井えい）

○私は處女の友を七月號より拜讀さして頂くやうになり誠にうれしくてなりません。晩部屋に歸ると處女の友ばかり讀んで過す事もあります私の居ます製糸工場は時々池田先生といふ御方が色々と爲になる話を聞せて下さいます。私は其お話を聞くのが何より樂しみであります、又裁縫なども時々教へて頂きます。（京都古井村郡是田口わか子）

○其後は誠に御無沙汰致しました先生始め皆々樣にはお變りもありませんか御伺ひ申上げます。當地では一ケ月遲れのお盆でした。（北海道荒木みさを）

○おなつかしい記者樣永々の御無沙汰何んとも申しわけも御座いません、都の諸先生にもお變りもありませんか、私共は上州の片田舍に居る乙女の集ひでムいます。毎月有益なる御誌を無二の友として野の幸を歌ひながら働いて居ります。何卒末永く御教導を願ひます。（群馬縣利根郡白澤村生枝處女會長萩原こま）

○記者樣初め誌友の皆々樣には御無事ですかお伺ひ申します、次に群馬の橋本登久子樣同姓でおなつかしうございます、宮城の牟岐あい子樣や岐阜の竹越よさ枝樣お差支なくば不束者ですが御交際をお願ひ致します（愛媛縣伊豫郡佐禮谷村橋本澤代）

○記者樣其後御健やかに御暮しの事と存じます、おかげ樣で私も日増に丈夫になりましたから他事ながら御安心下さいませ。毎日少し雨がふつたり風が吹いたりしますのでちつとも海邊にも參りませず、母と二人とぢこもつて讀書したり、又宿の子供をつれて來てあそんだりして居ます。（宮城牟岐あい子）

○暑い暑いといふ中に早や朝夕の風は身にしみわたります。私共處女會員たちは青年の爲と思ひ八月八日青年の開墾する畑を耕してやりました。九月頃青年處女會共に畑を作つて其日は青年團處女會一同寫眞を寫す事に定まりました。その時にはお

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

送りいたしませう。(福島縣大沼郡川路村字瀧松崎)

△どうぞお寫眞をお送り下さい樂しみに待つて居ます(記者)

○記者樣始め皆々樣にはこの暑さを如何お暮し遊ばしますか、私は信州諏訪湖附近の工女です、本年の一月號より愛讀者となり御先生の御骨折により有益なる處女の友を唯一の友として朝夕有難く拜讀いたし、私共は毎日其日其日怠りなく勉强いたして居ります。(長野縣諏訪郡平野村安江すえ代)

○千草のかげに色々の蟲の聲の聞える時節となりました。記者樣先日はきれいな繪はがきありがたう存じます。誌友の皆樣御無事ですのお伺ひ致します香川の岩井つや子樣おなつかしうございます。(宮城二階堂たかを)

○月が輝いてゐます誌上の諸姉樣方もきつとこの美しい月を眺めていらつしやることでせう。滋賀縣の八幡におはす古川知惠子樣お懐しう御座います。朝な夕なあの美しい湖を眺めてゐらつしやるでせうほんとに近江は豐かないゝ所ですね、私もしばらく大津に居ました古川樣府下の田村百合子樣四國の月見草樣お差支なくば此の誌上にてお交りを(宮川のほとり鈴蘭)

○私はこれから處女の友を無二の友として樂しく月日を送ります、誌友の皆樣御交際を(島根縣簸川郡灘分村鵜女)

○諸先生にはお健やかでゐらつしやる事と察しますだん〳〵農事も忙がしくなりましたので本月號をやう〳〵讀み終りました。(島根縣灘分村常松サダノ)

○私は去る七月から處女の友の誌友となりました、私も色々雜誌を讀みましたが此の雜誌ほど內容の充實して居るものはありません、今後も倚御發展を一何卒私も誌友くらぶのお仲間入させて頂きます。(大分縣西國東郡田染村河野こまき)

○私等は大正八年二月十八日に先生の御存じの柴原先生が御出の時御講話の末御誌をお紹介下さつた同四月號より讀んで居ます。(香川縣三豐郡大野原村石川もと)

○宮城のたかを樣いつも乍らみやさしの御言葉ありがたう存じます、至らぬ者ですがおみすてなく御導き下さいませ。牟岐あい子樣花の樣なる御玉章うれしく拜見いたしました不束な私どうぞ末永くお交り下さい(島根山根ふさの)

○東京府下愛讀者として御投書なすつた姉君樣私はたしか田中みどり子樣と察します何といふおやさしい方でせう。私は二月號の結婚前の處女へを讀んで泣いた者でムいます。(群馬縣勢多郡木瀨村上大島石川さの)

○先生おきゝ下さいませ島根の森脇操樣は去る八月十三日十九の若き花の盛りを遂にかへらぬ人となられました操樣は內氣なおとなしい方でした皆樣方操樣の死を悲しんで下さい。(島根房女)

△なんといふ悲しい事でせう記者も共々に涙にむせびました(記者)

○虫の音もいと懐しく思出深い初秋も訪れました、皆樣お變りはありませんか定めし八月號表紙のやうなあの優しいお姿で涼風渡る靑田にお働きの事と存じます同村の白百合樣つて何方ですの御自愛を(香川縣三豐郡大野原村野田カツヱ)

○記者樣素人でヴアイオリンを獨習するには如何なる書物がよろしいでせうかお手數ながらお敎へ下さい(島根縣大原郡大東町靑木龜野)

△「ヴアイオリン手ほどき」定價送料共九十六錢この御本をお求めになつてはいかゞですか。

○おゝ月が……仲間を泣かした月が……虫なく夜を照してゐます靑白い月光を浴びてペンを走らせてゐます月々に机上に處女の友が重なる度に私の喜びは增します記者先生みことばありがたうございましたほんとうに振ひます。(群馬佐波郡小此木橋本登久子)

○東北の牟岐あい子樣御全快の由お喜び申します同縣大ノ原の白百合樣御本名お聞かせ下さい(高木比佐)

○記者樣お變りありませんか私は月に有益なる處女の友を無二の友として毎日樂しく田畑に働いて居ます昨年の七月からの愛讀者です(福島縣上野みわ子)

○私は幾度か投書しやうと思ひましたが字が下手ですから遠慮して居ました今度初めてです(讃岐中村よし)

○私は故鄕をあとにして遠き此の地に兩親と共に住んで居ます我が簸川小學校では毎月會を開いて處女の友を一人づゝ渡されます(鈴木すみ子)

△石川もと子さん、美しきゑはがきありがたうございます。天野先生にもお目にかけました(ひろの)

○鳥取の小原しげ子樣ほんとに嬉しうございました、不束な者ですけれど以後よろしく御願ひいたします(松江石橋米田つる子)

○暑い〳〵といつてゐる內に早や稻も實つて秋風が訪れてまゐりました諸先生には如何お暮し遊ばされますかお伺ひ致します(島根縣簸川郡多々和菊野)

○牟岐あい子樣私は今秋の月を眺めつゝ母樣とお二人暮しの貴女樣をお慕ひ申して居ます。いつもお上手

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

なお作を拜見しては自分の天才のないのを悲しんでゐます、未筆ながら松崎先生此の後どうぞお導きの程お願ひ申します（神奈川縣與瀬町山下惠美子）

○風鈴の音――鳳仙花の實の音――しだん〳〵萬象が凋落して行く此の頃は故知らず涙ぐまれます。宮城の岐様――過ぐる日はおやさしいことば有り難う存じました京都の平岡様如何お暮しですのお案じ申して居ますの（群馬縣新田郡九合村對比地こう）

○九月號にて松崎先生の御寫眞を拜見いたしほんとうに嬉しうございます、先生親に別れたひなどりの様の心の持主を御導き下さい（鳥取小原しげ子）

○丁度去年の八月の同窓會に學校に參りまして村長様や校長様よりの御講演を聞きまして後で今東京に處女の友と云ふ大へん皆様の爲になる本が出來て居るとの話で去年の九月から拜見して居ます非常に結構な事ばかりで樂しみにしてゐます（兵庫原田こすみ）

○朝夕はまことに涼しくなりました諸先生様にはお變りもありませんか此の度は松崎先生が御入社下され私共にとり此上もなき幸福と深くよろこんで居ります（和歌山縣伊都郡隅田村中島石井えい）

○私は四國の片田舍に住む農家の乙女であります本年壹月から愛讀者でございますどうぞよろしく（香川縣仲多度津郡垂水村宮武まさの）

○記者様私は片田舍に住む處女であります今年の二月より愛讀してゐますどうぞよろしくお導き下さい。（福島縣大沼郡川路村一處女）

○此の頃は早や秋の草花がほころびまして誠に好い時節となりました私は田舍の處女で御座いますどうぞよろしく（愛知縣北設樂郡三輪村大字川合小石かつ）

○私は本年二月より本誌の愛讀者となりました皆様何卒お交り下さい（島根縣大原郡位世村細木たまよ）

○先生及び誌友の姉様には何のおさわりもございませんか私も丈夫で日々暮してゐます（香川縣仲多度郡垂水村岩井つや子）

○私は昨年の二月號から本誌の愛讀者となりました何時も有益なる事のみ御記載下さいまして厚く感謝致します（靜岡縣小笠郡原田みさを）

○記者様お暑さにおいとひなく私等の御教導にお骨折下さいまして誠にありがたう存じます私は保土ヶ谷工場の處女で御座いますよろしくお願ひいたします（保土ヶ谷工場高田カツ）

○私は上州片田舍の娘です本年三月學校を卒業して九月より愛讀者となりました御交際を（群馬縣勢田郡木瀬村石田きの）

○當地方旋風起り候節は早速御見舞被下有りがたく御禮申上候。當村は人畜の死傷無之候へども、野中には潰家屋二十三棟死者一名重輕傷者多數を出したことゝて、其の慘狀目もあてられず候。（群馬縣勢多郡木瀬村萩原けん子）

○記者様私は小名木川工場に四年近く居りますが郷里の友を思ひ、心ぼそく思ひます。然しこの頃はたのしい處女の友が來ますので、樂しく働いて居ります。記者様の强く優しくまじめに働けは身に泌みて行ひます（小名木川工場にて○○子）

○月次處女會に出席するのが誠に樂しくてなりません毎月始めに午後一時から小學校へ皆様お集りになり一日を有益に愉快に過しお互に一入善良な會員と成らうと誓つて別れます（福島縣安達郡針道每子）

◎早々被害の御見舞下さいまして有難く存じます幸ひにも當村は何の被害もありませんでしたが隣村は悲慘でありました（群馬縣勢多郡木瀬村眞下やす子）

○友情の靖代さんに全く同情致します早く次號が見度くてなりません（群馬縣柳岡いく）

○お忙がしい中に早速お見舞下さいまして有難く御禮申上げます幸ひに私の村では氣の毒の家は少なかつたですけれど隣の村では大變お氣の毒でした（群馬縣勢多郡木瀬村梅澤きん子）

○諸先生初め皆様おなつかしう存じます私は遠く南滿の異郷に白衣を身にまとひ日々病になやめる方々の爲に働いてゐます島根の和久利滋秀惠様御厚志厚く感謝して居ます（大連市大連病院福井松代）

○暮れ行く夕べの涼風に草むらにすだく虫の音にいつか秋の哀を思はせます。誌友くらぶの皆様お交り下さい私は主婦代りをして弟と淋しく家にお留守居をしてゐます（群馬縣多野郡神川村字森戸近藤美代志）

○私の通學時代或先生より「昔は男子は落着が大事だと申してゐたが今は改めて人間は落着が大事である」と申された事がありました、今の如く文明の世にこんな事は何でもありませんが又取つて參考とすべき事ではありませんか（備後御調郡今津野村一の星）

○私は本年から處女の友の愛讀者となりましたどうか世なれぬ私を濟き誌上にてお導き下さい誌友の皆様よろしく（香川縣三豐郡二ノ宮村高木きぬ）

○私は北の國に住む一處女でありますが本年の七月から愛讀者となりました誌友の諸姉様お交りを願ひます（福島縣伊達郡上保原村片平とめ）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

懸賞處女文藝募集

第一種

作文　題隨意（三百字以內）
和歌（題隨意一人三首）
俳句（題隨意一人三句）
考へ物
習字（半紙一枚六字）

第二種

處女會の寫眞
田園生活の感想
有利なる副業內職
地方篤志婦人の事蹟
田舍より見たる都會

第三種

誌友俱樂部（はかき一人一通）
衛生問答（一人一問）
處世問答（一人一問）

英國ロンドンより

本會理事國府種德氏の通信

九月號考へ物の答

「ラムネに鯛を盛れば平家の大將なり」これは「平宗盛」といふ答になります例の抽籤にて左の方々にあたりました

岡山縣赤磐郡赤木ふみ、香川縣仲多度郡瀧口アサエ、山梨縣北都留郡今泉やすゑ、山口縣厚狹郡厚東ぶん、福島縣河沼郡佐藤らん、佐賀縣三養基郡中原玉枝、東京市赤坂永井美奈、大分縣大野郡島田琴路、栃木縣下都賀郡長澤すみ、廣島縣佐伯郡和田ユミ、熊本縣天草郡高田たみ福井縣坂井郡高島ぶん、愛媛縣東宇和郡宇都宮カネヨ、群馬縣佐波郡柳岡いく、靜岡富士郡佐野花、福岡縣朝倉郡中村ヨシ、和歌山縣伊都郡石井ゑい、愛知縣西春日井郡河野せい、德島縣麻植郡河田スミ、福島縣相馬郡太田いち、高知縣長岡郡吉川キヨ、岐阜縣武儀郡高木八重野、神奈川縣保土ケ谷佐々木スエノ、秋田縣平鹿郡植田スミ、大阪府南河內郡橫山サク、長野縣上水內郡淺井ツナ、靜岡縣富士郡齋藤カネ、三重縣多氣郡江馬ハル、群馬縣勢多郡宇田川まさ、滋賀縣坂田郡下鄉つゆ、山形縣南置賜郡大澤ツル福島縣東白川郡山口フミ

考へ物新題

新題　八つの口ある金は何でせう。

締切十月十日

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

編輯だより

■秋の七草に虫の音に田舍の最も面白い時節です鎭守の幟ひらめく村祭りの賑やかな一日を樂しまるゝ皆樣の有樣を想像して居ますよく働きよく遊ぶお心で鎭守の祭の一日は思ふ存分愉快にお過しなさいますやうに

■十七日は神嘗祭、三十一日は天長祝日、

■旅行にもよい時節でございます、團體の東京見物はいかゞ中央部ではよろこんで御案内申しませう。

■二百十日二百二十日も無事にすみました此分なれば稲のみのりは豊かでせう豊年の喜び共に祝ひませう野に働く皆樣の汗の玉水脂の結晶秋のみのりを有難いと感謝してゐます。

■月々に編輯の机の上に處女の友に對するお賞めの言葉に充ちた手紙が埋高く重なり限りある紙面には掲載出來かねます皆樣のお力づけで編輯係りもうか／＼して居られないやうな氣がしてある限りの努力をいたし全力を捧げんとの意氣込てあります どうぞ御遠慮なく御意見を發表して下さいませそしてます／＼處女の友を充實させ度いと思ひます。

■處女の友の愛讀者といふ一種の誇と氣風を持つて世間の人に認められるやうになり度いと思ひます、云ひかへれば机の上で強くやさしくまじめに働けと千萬言を費すより皆樣の行で世の人に處女の友の愛讀者であるといふ事を語つて頂き度いのです實行といふ事を處女の友の主義としやうてはありませんか。

■編輯を終へて机にもたれて考へ込んで居ますとゆかしい蓄音機の音に言ひ知れぬ感に打たれ聞き入りましたそれは

　野を守る乙女の我等が幸ぞ、野を守る乙女の我等が幸ぞ。

　まあ何といふ嬉しい事でせう都の眞中で野の乙女を讃美する樂の音を聞くとは(ひろの)

毎月一回一日發行

定價表

册數	定價	郵税
一册	拾八錢	五厘
六册	壹圓八錢	不要
十二册	貳圓	不要

註文規定

○註文はすべて前金のこと
○送金は振替が便利で安全ゆへなるべくこれによられたし
○郵券代用は必らず一割増のこと
○前金切の時は帶封に「前金切」と印しおくゆへ直に送金せられたし
○送金のときは第何月號より第何月號迄と明記せられたし

大正九年九月二十九日印刷
大正九年十月　一　日發行

東京市本郷區元町二ノ六六
發行人 印刷人 田所楠猪
編輯人 天野藤男
東京市神田區小川町三十六
印刷所 成巧社印刷所

東京市麹町區紀尾井町三番地
處女會中央部

發行所
東京市本郷區元町二ノ六六
處女の友發行所
振替東京六一九〇番
電話小石川四三八四番

大賣捌
東京堂、北隆館、至誠堂
東海堂、良明堂、上田屋
其他

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

前共立女子職業學校教師
遠藤錠子 高田久子共著

續裁縫おさいく物
（おもちや集）

和裝菊版全一冊

定價 金壹圓七拾錢
郵税金十二錢

本書は家庭に於ける小ぎれ節約の利用方便として有益且つ興味あるおもちやの製作を娯のうちに研究し得る新著にして説明は簡易平明製作の詳細を會得する樣に力め艶麗なる原色圖と完全なる型紙を附しあれば居ながらにして趣味ある實物を製作し得らる先づ一本を購ふて試みらるべし。

伊藤文子、小川錠子、高田久子共著

裁縫おさいく物

第三十五版
和裝菊版全一冊
金一圓八十錢
郵税金十二錢

伊藤文子、小川錠子、高田久子共著

續裁縫おさいく物

第十七版
和裝菊版全一冊
金二圓二十錢
郵税金十二錢

東京市日本橋角
大倉書店
振替東京二三三八番

○御註文の節は 處女の友 の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

創刊十五年地方振興民力涵養の機關

新民

十月號 ■ 一部 卅錢 一年 三圓六十錢

■國防と農業……矢作博士

■新講談 遠州屋嘉兵衛……天野雄彦

■自治と警察……松井博士

■時事評論……

■最近獨逸の社會改造……東根法學士

■國史教育の普及……三上文學士

■自治法令の研究……

■自治實務質疑應答……

■報德千話……井口丑二

■社會事業の將來……池田社會局長

■第四回自治講習會要項

■各地に於ける町村長大會

▽優良町村長の勤續輪表……入江內務囑託

△北海道、東北(六縣)新潟、岐阜、山口 各府縣の會員讀者諸君には特に地方版を配布す

中央報德會編纂

思想の動搖と民力の涵養

(最新刊) 定價五拾錢 送料四錢

內容一班

一、民心の歸嚮統一……法博 一木喜德郎

二、思想の動搖に就て……文博 澤柳政太郎

三、現代思想と立國の大本……日南 福本誠

四、民力涵養に就て……山崎延吉

近藤行太郎
今野拓民 合著

選奬さるゝまで

(最新刊) 定價二圓五十錢 送料十錢

著者は多年內務省市町村課の當局者として、全國市町村の實狀に通ずる事恰も嚢中に物を探るが如く、其の長短優劣一として知悉せざる所なし。隨て全國町村の現狀に就て深く憂慮する所あり內務省選奬の優良町村に就き其の選奬さるゝに至りし眞因を究め之を世に闡明して、未だ選奬さるゝに至らざる町村に對し、絶好の資料を提供せんことを期し、繁劇なる公務の餘暇を以て奮勵努力此に本書を成せり。されど自治の當局者は勿論地方有志者に取りては、眞に座右の寶典と稱すべき良書なり。敢て江湖に推薦す。

發行所 東京市赤坂區溜池町三十一 中央報德會 振替東京九七〇〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

青年の書

大久保四州著（第十四版）

青年訓話 軍神乃木

乃木將軍の感化の力の偉大なる事は本書が日に新に熱狂的大歡迎を受くるによりても知らる。

定價五拾錢＝送料四錢

月刊雜誌 帝國青年

青年の好伴侶▲指導者の研究舞臺▲修養研究向上娛樂▲青年團の連絡▲

定價一部二十錢送料一錢▲半年分一圓廿錢▲一年分二圓三十錢稅共

靑年團中央部編纂
第四回靑年團講習會講習錄

新時代の青年團

新時代に處して青年團體を如何に指導すべきかの問題は二十有餘大家の權威ある講演に依り解決さる

定價一圓五十錢＝送料六錢

青年團員手牒

定價十二錢＝送料三部迄二錢

帝國青年の歌

定價五錢＝送料九部迄二錢

青年團體操

定價五錢＝送料四部迄二錢

緬羊の飼ひ方

定價六十五錢＝送料四錢

東京市赤坂區溜池町三十一　帝國青年發行所　振替口座東京二一六八番

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

內容見本無代進呈

小野鵞堂習字雜誌

書道研究

文部大臣許可社團法人 斯華會 東京神田猿樂町三

本月號出來

內務省囑託 天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價八十錢 送料六錢

好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奬む

東京市本郷元町 丙辰出版社 振替東京三三三〇〇番

賜天覽台覽

天野藤男著 內務文部兩大臣其他序

指導經營 研究美績

青年團處女會

定價二圓五十錢 送料十二錢

◉好評六版◉

一著者が多年の苦心になれる著述にして青年會處女會の好參考書一

東京本郷元町二丁目 振替東京三三三〇〇番 丙辰出版社

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

都で流行る

紳士淑女の美容料

キメ細やかに肌を奇麗にする

ホーカー液

秋の日ヤケ

秋の日ヤケは嫁にも貰はぬとか申して治りにくいものにされて居ますが、其を防ぐには朝夕一滴のホーカー液をお塗けになれば善う御座います。

定價	
小	二十八錢
中	五十八錢
大	一圓五錢
送費	內地六錢

ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカーパット
ホーカー美髪液　ホーカークリーム白粉

東京神田和泉橋際
本舗　堀越嘉太郎商店
振替東京一五六

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正九年九月二十八日印刷納本
大正九年十月一日發行（毎月一回一日發行）
一部定價　金十八錢
處女會中央部
東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所